

# *Spur 64*



東北大学学友会スキー部

## アブノーマルなシーズン（スキー部のニューノーマルとは）

スキー部長 風間 聡（平成二年卒）

令和元年度は大変荒れた1年でした。台風第19号では宮城県も甚大な被害を受けました。丸森町役場が水面上に浮かぶ様が何度も報道されました。長野新幹線の駐機場が浸水した画像も衝撃的でした。冬に入ると今度は全く雪がない状態が続き、現役は練習場探しに四苦八苦しました。蔵王はほぼ滑ることができず、北海道へ渡ったチームに有利となりました。雪不足の結果、野沢温泉の九大学戦のジャンプは実施されませんでした。一時はインカレの開催も危ぶまれる状態でした。幸い鹿角には雪がまとまって降り、競技日程は一部修正となりましたが、予定期間通りの開催となりました。私は二日目のジャンプ競技を田中倫久氏（平成十四年卒）と一緒に観戦しましたが、二月下旬にも関わらず小雨が降り、レールに液体窒素を撒いての競技は、お互い初めて見た光景でした。距離の会場であるグランドの一部は土がむき出しでした。温暖化が顕在しており、日本各地のスキー場の倒産の記事も今年は数多く目にしました。以上のことが温暖化によるものなら、スキー自体の存続が危ぶまれています。さらにインカレでは、競技後半の表彰式が取りやめになりました。新型コロナウイルスのせいです。この頃はまた越県が問題にされることはありませんでしたが、三月に入ると大ごとになり、全日本国立戦は中止となりました。大学も部活動の自粛を順じ進め、三月後半には部の活動が全く失われることとなりました。部員は個人でなんとか練習をしていましたが、六月まで大学に来ることも許されませんでした。

新入生は入学時から自宅待機であり、二割から四割の学生は仙台に来ることなく実家に残ったままオンラインで入学手続きや講義を受けることになりました。新入部員の勧誘・確保は部の存続にかかわる一大イベントですが、直接勧誘できない厳しい状態でした。入部者ゼロが懸念されましたが、SNSを用いるなどをして六人（五月上旬時）の入部がありました。全く異なる環境においてよく勧誘したと思っています。この間、大学も新型コロナウイルスの対応で、会議や講義は全てオンラインになり、週一度上級生が新入生に連絡を取るピアサポーター制度を導入、教員もアドバイザー面談や授業登録に目を光らせて、講義登録していない学生に個別連絡（場合によっては自宅に電話）する対応をしました。事務もほとんど閉鎖状態であり、大学に全く人がいない状態が二か月ほど続きました。これを執筆しているのは七月十日ですが、いまだ新歓コンパは開かれておらず、蔵王合宿や夏合宿も行えない状態です。これをきっかけに新たな強いスキー部に生まれ変わることが出来れば、将来この時期が良かったと言えるかも知れません。

現役部員と萩雪会の懸念事項の一つが萩雪ヒュッテの改築、建替えです。震災によって施設が無くなったボート部やヨット部の復旧が第一だったため、ヒュッテの案件は後回しにされていました。しかし、半世紀以上経つ建物は、待ったなしと言えます。日出間前部長は現在、学生部学友会体育部副部長です。こうした本部とのパイプはヒュッテの改築や部室の確保などに大変な効果があります。継続的に日出間前部長から学生部に働きかけて頂くことはもちろんですが、学内外のOBOGからも関係者に発言していくことが肝心です。また、場所を借りている大平ホテルとの交流も継続、活性化することも肝心です。いずれにせよ学生部とのチャンネルを増やしつつ、働きかけていくつもりです。

現役の活躍については言うことなしです。全日本国公立は中止であり、男子六連覇はなりませんでしたが、来年も勝てば連覇継続とみなせると思っています。七大戦はかなり際どかったと聞いておりますが、完全優勝で学長から表彰される大谷賞（七大戦優勝）を今年ももらうことができました。鼻高々です。大の目標としているインカレでは、男子5位、女子14位という立派な成績であり、男子は再び国公立ナンバーワンになりました。女子の上位には多くの国立大学います。国公立大学ナンバーワンの奪還を目指して欲しいと思っています。7月現在の部員は一年6（9）人二年5（9）人三年6（10）人四年9（10）人と全26（38）人となっております。括弧内は昨年の人数です。ここ数年、入部数が減っており、退部者もやや増えているようです。部員数と成績には相関があることは自明です。厚い選手層が強い選手を育てることは間違いありません。また、部内のライバルはより向上心を刺激します。次年度以降、途中入部も含めて部員数を増やす方を現役部員と考えたいと思っております。

末筆になりましたが、スキー部のこの輝かしい歴史と伝統はOBOG諸氏の暖かいご支援に支えられており、ここに厚く御礼申し上げます。引き続き様々な場面でのご助言・ご援助を賜りますようよろしく御願い申し上げます。（令和2年7月10日）

表1 過去の戦績

開催年		R2	H31	H30	H29	H28	H27	H26
インカレ (*1部)	男子	5	6	4	6	5	3	5
	女子	12	5	14*	10*	1	5	9
全国戦	男子	中止	1	1	1	1	1	2
	女子	中止	3	1	3	1	2	5
九大戦 または 十大戦	男子	1	1	1	1	1	1	1
	女子	1	1	1	2	1	1	1
	総合	1	1	1	1	1	1	1

# SPUR64

## 目次

部長文	・・・1
目次	・・・3
OB寄稿文	・・・4
監督文	・・・17
インカレ体験記	・・・19
九大戦体験記	・・・23
令和元年度成績表	・・・26
部長・監督紹介	・・・31
部員紹介	・・・32
令和元年度・令和2年度スキー部活動報告	・・・35
幹部文	・・・38
部員文	・・・41
令和元年度会計報告	・・・68
令和元年度寄付金報告	・・・69
学友会スキー部部則	・・・71
令和2年度合宿予定	・・・73
お知らせ	・・・74
スキー部部員名簿	・・・75
スキー部OB・OG名簿	・・・78
広告協賛一覧	・・・96
奥付	・・・100

## 「東北大学萩雪会」のこと

東北大学萩雪会会長 工藤博司（昭和三十九年卒・第四代スキー部長）

「東北大学萩雪会」は一九六四（昭和三九）年秋に宮城県スキー連盟への加入が認められた県連所属団体の名称である。いわゆるスキー部OB・OGの親睦団体「萩雪会」とは少し異なる。前者は、東北大学スキー部のOBとOGとが全日本スキー連盟（SAJ）に競技者あるいは有資格者として登録するための公式の組織である。そのことを知らないOB・OGもいるようなので「東北大学萩雪会」の設立の経緯とその後足の取りを紹介しておきたい。

国体出場の経験があった同期の竹内興二君と筆者は一九六四年三月の卒業後も研究生として大学に残っていて、現役を終えた後も国体出場を目指して県予選に出たいとの希望をもっていた。当時OB十九名が仙台に居てそのうちの何名かはそれまでも東北大学スキー部の一員として国体予選に出場していたが、選手登録等で現役部員に負担を掛けたくないとの思いから、OBだけの団体をつくって県連に登録してはどうかということになった。宮城県スキー連盟で、高体連の指導者として活躍し、国体選手（教員組の常連で入賞経験もある）でもあった東北高校の佐藤陽二先輩（昭和三十一年卒、スキー部初代監督）と相談したところ「それはよい、とにかく皆で一度集まろう」ということになった。五月二十二日に最初の会合がもたれ、十五名の参加を得て会の結成が決まった。高橋公正先輩（昭和一九年卒）を会長に選出し、世話役として竹内君と筆者が幹事に指名された。この会合で会の名称は決まらなかった。色々な案が出され難航したが、七月六日の第二回会合では萩雪会、雪艇会、雪社会の三案に絞られ、投票の結果萩雪会に決まり、「東北大学萩雪会」として宮城県スキー連盟に加盟申請をした。なお、その際に添付した会則を本文の後に資料として付記した〔SPUR 第四号（一九六四年）から転載〕。

その年の八月六日に山小屋（萩雪ヒュッテ）の竣工祝賀会が大平ホテル（山形市蔵王温泉）で催されたが、それに先立って学生部から山

小屋の名称を提案するようスキー部に依頼があった。加藤部長と相談の結果、OB会の名称を参考に「萩雪ヒュッテ」を提案した。学生部は快諾してくれたが、一言「OB会が『東北大学萩雪会』の名称で宮城県スキー連盟に加入申請中とのことだが、ヒュッテの名称はその名を取ったのではなく、OB会がヒュッテの名を冠した」ということにして欲してとの注文があった。「萩雪会」の名は「萩雪ヒュッテ」に因んで付けたと語り継がれて一向に構わないが、実はそのような裏話があった。

竹内君が一九六七（昭和四二）年に修士課程を終えて松下通信工業に就職し、筆者も日本原子力研究所（東海村）に勤めるとになって二人とも仙台を離れた。「東北大学萩雪会」のことが心配だったが、幸い大学院に進学する部員も増えて、毎年何人かのOB・OGが選手登録をして国体予選に出場し続けた。それにも増して、加盟団体として存続することができたのは陽二先生（私たち後輩は親しみを込めて佐藤先輩をそう呼んでいた）の影響力が大きかった。県連の役員をとして高体連の運営に尽力するとともに、SAJの公認資格登録（競技運営指導員、競技技術指導員、ジャンプ競技飛距離審判員）を「東北大学萩雪会」の一員として継続していた。

筆者も、茨城県スキー連盟で強化部長を務めていた時（茨城県代表クロスカントリイ選手として七回、監督として八回、総監督として六回国体に参加）に取得した競技運営指導員、競技技術指導員およびクロスカントリイ技術代表（TD: Technical Delegation）のSAJ公認資格を持っていたので、一九九四（平成六）年に仙台に戻ってからは再び「東北大学萩雪会」の一員として有資格者登録を継続することができた。特に、クロスカントリイTDの資格をもつ者は宮城県連には筆者以外にいなかったため、翌年一月の国体県予選から大会運営に引っ張り出された。SAJの公認大会にはTDがいなければならぬの



東北大学萩雪会忘年会(2019年12月13日、於ホテル白萩)  
[左から小柴、工藤、日出間、加藤孝、風間、佐藤佑]

で、その後も毎年鳴子で開催されるインターハイ宮城県予選と国体予選にTDとして参加した。その後TDの有資格者が一人増えたこともあり、七五歳を迎えた二〇一六(平成二八)年にその役を退いた。

国体宮城県予選には東北大学の選手(学生会スキー部と医学部スキー部)が大勢参加するので、鳴子の上野タクロスカントリコースで現役部員を応援するのが楽しみだった。しかも、クロスカントリ競技の出場者の大半(ある年には女子を含めて三〇人中二〇人)が東北大学の選手だったこともあり、他の競技役員を前にして鼻高々で、東北大学スキー部の存在感を示すことができた。そのような思い出深い

経験ができたのも県連所属団体としての「東北大学萩雪会」が存在し続けていたからに他ならない。最近では、青木副部長が県連登録をしてマスターズ大会に参加しており、この先も永く存続し続けることを願っている。

陽二先生は毎年欠かさず在仙OB・OGの忘年会に出席し、飛距離審判員として参加した札幌五輪の裏話や東北高校の教員として本田武史と荒川静香選手の名のオリンピック選手を育てた経験、長野五輪のことなどを楽しそうに語ってくれた。晩年には、「今年も切

腹しました三回目です」と癌(がん)克服の闘病生活を悲壮感なしに語ってくれて、同席していたがん専門医の森昌造先輩(昭和三〇年卒)も「頑張るね」と感心していた。

残念なことにお二人とも癌には勝てず、陽二先生は二〇一四(平成二六)年九月に、森先輩は二〇一六(平成二八)年六月に他界された。森先輩はスキー部の創設者の一人で、二〇〇一年(平成一三)年に高橋公正先輩から萩雪会の会長を引き継ぎ、翌年のスキー部創部五〇周年記念事業を先頭に立って引っ張っていただいた。二〇一四(平成二六)年八月六日に大平ホテル(蔵王温泉)で開催した「東北大学萩雪ヒュッテ利用五〇周年感謝の集い」にも盛岡の自宅から家用車で駆けつけていただいた。そのクルマの屋根にはスキー収納用のポートが付いていて、「いつでも滑れるように積んであるんだ」と話していた。お悔やみに伺った時に奥様から「亡くなる」二カ月前にも、夏油スキー場で滑ったんですよ」と聞き、凄い先輩だと思った。

筆者の目で見えた「東北大学萩雪会」の二面を記した。「東北大学萩雪会」は宮城県スキー連盟の中でも古参の所属団体であり、これからも未長く宮城県の競技スキーを引っ張って欲しい。若手OB・OGの選手あるいは指導者としてのさらなる貢献を期待したい。

(二〇二〇(令和二)年四月記)

【資料】

「東北大学秋雪会会則」

第一条 本会は東北大学秋雪会と称する。

第二条 本会は東北大学学友会スキー部の全課程修了者をもって構成し、スキー部現役在籍中に育てた各自の技術を更に向上せしめると共に、会員相互の交誼を温め、スキー競技を通じてその親睦を密にし、かつ現役部員の後援にあたることをもってその目的とする。

第三条 本会は前条の目的を達するため次のことを行う。

- 1 スキー競技への参加
- 2 シーズン前に総会を開催する
- 3 会報、名簿の作成
- 4 連盟に加盟し、関係行事に参加する
- 5 その他

第四条 本会会員は次の義務を負う。

- 1 会員費として年間一定額を納入する
- 2 本会決定事項に従う

第五条 本会会員は東北大学学友会スキー部卒業生をもって構成する。

第六条 本会役員は次の者をもって構成する。

- 会長 一名  
幹事 二名（うち一名を会計幹事とする）

第七条 本会会則は昭和三十九年十月八日をもってその効力を発する。

発足時の会員

高橋公正、佐々木一巳、佐藤陽二、森啓、小川忠博、柴田徹、佐藤周子、栗原義郎、金ヶ崎史朗、三玉立郎、市川民雄、渡辺高峯、武田尚子、吉田睦男、渡辺洋、加藤孝、阿部欣悦、竹内興二、工藤博司（以上十九名）

## 東北大学スキー部の創設と萩雪会の発足、そして拡大

栗原義郎（昭和三十七年卒）

令和元年十一月十六日、東京萩雪会が開催された。参加者は総勢三十六名だったが、萩雪会もスキー部の創設七〇周年を前にして、昭和、平成、令和の三世代に亘り大きな変遷を遂げてきた。会員数も五〇〇名に近づいていると聞いている。私より歳上の先輩方の参加者が減ってきて、寂しくなった。二〇一六（平成二八）年には萩雪会前会長の森昌造先輩（昭和三〇年卒）も他界され、永らく東京萩雪会のトップであった吉田裕先輩（昭和三二年卒）も欠席された。出席者の中では木名瀬武男さん（昭和三四年卒）に続いて私が二番目の長老となってしまった。東北大学スキー部創設当時の状況を知っている数少ない一人として、当時のことを記しておくことが大切と思い筆を取った。



筆者 近影

スキー部のOB・OG名簿を繰ってみると、初期の部員は東北、上信越、北海道等の雪国の出身者が大半だったが、最近は全国に及んでいる。それだけスキー部が全国区になったこととスキーそのものが大きく変遷していることの証であろう。

スキー部創設当時のいきさつは既に、森さんがスキー部五〇周年記念誌（二〇〇二年）に、吉田さんがSPUR第五九号（二〇〇五年）に詳しく語っているが、その実績を受け継いだ一人としてその頃の社会事情も含め記しておきたいと思う。記憶違いもあるかと思われるので、健在の諸先輩や同輩が実情に即して修正して頂きたい。なお本稿では、教員は先生、先輩は「さん」、同輩と後輩は君と呼ぶことをお許し願いたい。

さて、私が東北大学スキー部員となったのは一九五七（昭和三二）年である。東北大学スキー部が創設されたのは一九五二（昭和二七）年のことで、千葉忠男さん（昭和三一年卒）、森さん、大田口隆さん（早世）らが岩手県の鉛温泉で開催された全日本学生スキー選手権大会（インカレ）に参加したことを皮切りに自然発生的にスタートした。しかし、実績がなく東北大学学友会に入入することは出来ず、初めはスキー愛好会であった。一九五三（昭和二八）年、山形県米沢市五色温泉で開催のインカレで吉田さんらが実績を上げ（吉田滑降二部六位入賞）、加えて柳原正先生らの後押しもあって学友会スキー部として認められることになった。東北大学スキー部々誌第一号は一九五七（昭和三二）年に発行



され、引き続き第二号は一九五八年、第三号は一九五九年に発行されている。この時期には未だ「SPUR」という名称ではなくスキー部々誌となっている。このバックナンバーは暫く私の手元にあったが、二〇一四（平成二六）年八月、現役員安藤樹君（平成二四卒）の要請により、写真集 *Memories of 57, 58* と共に送付しているので、大切に保管されているものと思っている。

一九五一（昭和二六）年、私は中学生であったがその頃から八ツ森や鳴子で開催されたスキー大会に出場していたから東北大学スキー部の先輩とも既に交流があった。高校生の頃は大学スキー部のポールと一緒に滑らせてもらっていた。当時のスキー部は加藤



宮城県体の筆者（昭和36年1月於鳴子スキー場、河北新報社提供）  
県代表として第16回国体スキー競技会（同年2月於高田市）に出場

愛雄先生が部長、八木健三先生が副部長だったが、実質的なリーダーは金属材料研究所の柳原正先生だった。吉田さんや森さんなどインカレで活躍したメンバーと一緒に滑らせてもらったのは幸いだった。当時、スキー部のユニホームは緑色のセーターの腕に二本の白線があり、憧れの的だった。高校生の頃には体育系の北村仁（スキー部第二代部長）、佐藤昭男（ス

キー部顧問）、海鋒修（スキー部顧問）の諸先生と国体予選や本戦などに同行して親交を深めた。

私が東北大学スキー部の正式なメンバーとなったのは一九五七（昭和三二）年のことだが、そういうことを振り返ると私自身は東北大スキー部創設の頃から十年以上も一緒に行動し、妹達もスキー部にお世話になっていたから、学友会スキー部の創設の頃のことを語る資格は十分にあると思っている。

#### 当時の大学の様子

その頃の教養部は秋保街道沿いの富沢や三神峯（現在電子光学研究施設がある場所）に分散されており学部は片平丁にあった。学友会スキー部の部室は片平キャンパスの法文学部テニスコートの前の部室長屋にあった。隣はアイスホッケー部だった。

スキー部は学友会に登録された運動部であったが、実質的には未だ同好会か、それに類した雰囲気であった。森さんや吉田さんは鳴子や五色温泉で開催されたインカレに参加していたが、大会参加は一部の有志だけだった。

川内キャンパスが未だ整備されていなかったので評定河原運動場が唯一のトレーニング場だった。他には青葉城址への道路や大年寺山の中継センター、植物園への道がトレーニングコースだった。

冬の合宿所は全くなかった。蔵王温泉の山形屋に頼んで系列の「どんぐり小屋」に宿泊したり、共済会のドッコ沼の施設や三五郎小屋などを合宿に使った。

私は在学中にインカレに四回、国体に宮城県代表として二回、

佐藤陽二さん(昭和三一年卒、スキー部初代監督)、吉田睦男君(昭和三九年卒)らとアルペン部門に参加した。インカレは三年生の時までは二部だったが、参加校が増えて翌年から三部制になり、前年度のインカレで無得点に終わった本学は残念がら三部校になってしまった。当時のスキー部は森啓君(昭和三六年卒、スキー部第三代部長)、石田孝君(昭和三六年卒)、市川民雄君(昭和三八年卒)、青山浩志君(昭和三八年卒)たちを中心に、練習は夏季、冬季を通して一生懸命にやったが、正式なコーチもなく、合宿所も無かったので、合宿が出来る自分達の小屋を持ち、学友会の運動部としての存在感を示すことが最大の目標だった。

一九六〇(昭和三五)年のローマオリンピックに本学のボート部が日本代表として出場した。そこまでは無理としても、スキー部門では早稲田大学や明治大学などの一部校と対抗出来るだけの体育会系運動部を作り上げるのが夢であり、大きな目標だった。合宿所が無いため、野沢温泉の健命寺に寝具を持ち込んで合宿をしたり、雪を求めてお金のかからない合宿所を探して練習を重ねた。アルペンが主体だったが、高橋公正さん(昭和二九年卒、萩雪会初代会長)や笛木劭さん(昭和三三年卒)、佐藤多助君(昭和三七年卒)などノルディックスキーを目指す人たちも現れ始めていた。

OB会や後援会組織もまだなかった。部誌名も住所録もまだできていなかった。片平丁の学食や誰かの下宿、私の家でスキー部の将来について論じあった。目指す方向や、考え方の違う仲間も

居て、残念ながら袂を分かつ優秀な仲間も居たが、一つの目的を目指すには致し方なかったかも知れない。近年のスキー部の活躍は、当時我々が夢見たことの一端の実現であり、夢が現実となったものと心から嬉しく、感謝している。

一九五五(昭和三〇)年当時の日本のスキー界と東北大学スキー部の様子を少し振り返ってみよう。一九五六(昭和三一)年には冬季オリンピックがイタリアの科尔チナ・ダンペッツォで開催され、日本の猪谷千春が回転競技で銀メダルを獲得した。トニーザイラーがアルペン三冠王になるなど、日本の経済復興が実現する中で、スキーブームを迎えようとしていた。「白銀は招くよ」などの映画が人気を集めていた。

#### その頃のスキー道具

アルペンスキーはヒッコリーやイタヤの単板から合板の板が出始めていた。欧州のクスレー、クナイスル、ホワイトスター、ロシニオール等が憧れの的で、国産では西沢、小賀坂、飯山などが主要メーカーだった。長さは腕を伸ばして挿める位が良いとされ、一九〇〜二〇〇センチメートルが普通だった。エッジもやっとなりくようになったが、平板のネジ止めだった。締め具はカンダハーと前傾バンドの組み合わせとかラングリーメンという皮ベルトでスキーに固定するもので、スキーを折るか足を折るかというような極めて危険なものだった。筆者もその悲劇に見舞われた一人である。靴は皮製で、紐で締めるものだった。現在のプラスチックボディーにバックル、セーフティーピンディングなどは思いもよらなかった。ストックは真竹かトンキンでスチール製はかなり後

のことである。

ジャンプやノルディックの道具も同じようなものだった。ウェアも現在の様な素材は未だ無く、綿のテント地のアノラックが唯一の防寒具であり、手袋は毛糸に頼っていた。国体宮城県代表のユニホームとして、ナイロン製のアノラックを支給されたことが嬉しかったことを覚えている。ゴーグルはあったが、ヘルメットは自転車用の革製だった。しかし、その頃に訪れた岩戸景気の上昇機運に乗って、スキー用具は年々急テンポで改善されていった。

### その頃のスキー技術

アルペンの技術では、外向型を重視するオーストリア派と上体を腕を回転させるフランス派が対抗しており、ジャンプでは空中で腕を回すノールウェイスタイルと腕を体側に付けるスウェーデンスタイルが競い合っていて、オリンピックや世界選手権の勝者の技法が世界をリードしていた。クルッケンハウザーなどの有名な指導者が来日しスキーブームは大いに盛り上がった。筆者も万座温泉で開催された講習会に参加し、それらの技術の卓越した論理と実践に感心したものである。

### 運営資金の調達

合宿や遠征の費用をどのようにして調達したか。全ては極めて困難なことだったが、ダンスパーティーや映画会、講演会などを開催して資金を集めた。当時山岳映画やスキー映画の製作で名の通った福原プロダクションやプロスキーヤーの三浦雄一郎氏（北海道大学スキー部出身）を招いた。

その頃発行することになった部誌に広告を出してもらうことや資金集めに、中村彰太郎君（昭和三八年卒）や加藤孝君（昭和三九年卒）が奔走してくれた。加藤君は印刷機メーカーのデュプロ社から広告を出してもらうことに成功し、「デュプロ」というあだ名が付いた。仙台の斎川運動具店や中村運動具店、西沢スキーや飯山スキーなどのメーカーの援助も助けになった。

### 部誌の発行と命名

本格的な部誌と名簿を発行することにし、先ず部誌の名前をどうするかで意見が百出した。金ヶ崎史朗君（昭和三七年卒）、渡辺高峰君（昭和三八年卒）、竹内興二君（昭和三九年卒）、萩雪会初代幹事）、工藤博司君（昭和三九年、スキー部第四代部長、萩雪会第三代会長）たちが中心となって誌名を検討した。雪舟とかラッセルとかシャ・ポテン・トゥとか色々あったが、「SPUR」と決めた。OB会を含めた会の名前は、仙台の花である萩と雪を組合わせて「萩雪会」と決めたと記憶している。この名前はやがて全日本スキー連盟（SAJ）にも登録され、待望の山小屋の名称にもなった。関東地区ではスキー部のOB・OG会として「白頭会」が既にあっただが、東北大学萩雪会東京支部と名前を変更して現在に至っている。

### 写真集の発行

毎年、卒業生を送る際にその年に活躍したそれぞれのベストシ

ヨットを集めて写真集を作った。写真は研究室や個人の家の暗室を利用して発行部数だけ現像して焼き付け、台紙に貼ってガリ版でコメントを印刷した。

### 東北地区大学スキー大会の創設と開催

当時、大学間の競技会はインカレだけだった。加藤先生のご尽力もあって、岩手大学、山形大学、福島大学、東北学院大学、東北薬科大学等が参加する東北地区大学スキー競技大会が実現し、一九五九（昭和三四）年一月に福島県岳温泉で第一回大会が開催された。初めはアルペン競技のみだったが、その後クロスカントリ―やリレー競技も実施された。第二回大会（猪苗代）からは女子の部が設けられ、坂本弘子君（昭和三六年卒）が回転優勝、大回転二位と好成績を納めた。翌年の第三回大会は地元の鳴子スキー場で開催され、念願の男女総合優勝を果たした（男子総合二位、女子総合一位）。女子回転で優勝した栗原幸恵君（四年生時死去）と大回転で優勝した坂本弘子君の活躍が目立った。一九六二年一月に再び猪苗代で開催された第四回大会では、吉田睦男君が回転と大回転の二冠に輝き、清水紘治君（昭和四〇年卒）が回転二位、栗原幸恵君が大回転二位、鬼木美枝子君（旧姓栗原、昭和四〇年卒）が回転二位と活躍し、男女ともそれぞれ総合優勝を果たした。

### 合宿と運動部としての強化

当時、自分達の合宿所を持たなかったために、夏冬を問わず色々なところで合宿した。冬の合宿所の決定には、秋口から新聞の積雪情報等を解析して早くから雪のある地域を探し、宿舍の確保に奔走した。インカレの開催地野沢温泉で合宿所を探して金ヶ崎君

と色々な所を当たるうちに、野沢温泉日陰ゲレンデ下の健命寺の本堂を借り受けることが出来、鉄道便（チツキ）で寝具を送り、安価な合宿ながら成果をあげたことは思い深い。野沢は豪雪で知られるところで、一晩で一メートル以上の積雪があり、昨日まで見えていた墓石がすっぽり埋まってしまうことも珍しくなかった。圧雪機などが無い時代で、半日かけて全員で日影スロープを踏み固めたものである。宿舍の本堂には雪が舞っていた。イワシやちくわの天ぷらも初めての経験であった。ちなみに、健命寺は長野名物「野沢菜」の種元（原種圃）として知られている。

話しは少しそれるが、当時やはり野沢温泉で合宿中であった早



健命寺（長野県野沢温泉村）での合宿（昭和35年12月、左から4人目が筆者）

稲田大学の三谷選手（オリンピック日本代表）から東北大学の朝の準備運動の「ヨイショ」の掛け声は喧しいから止めてとクレームの付いたことにはいささか義憤を感じたが、致しかたないことであった。しかしこういって次への躍進へのカンフル剤になったことは否めない。

春は雪を求めて宮城蔵王の白雲山荘（かもしか温泉、エコーライン「賽の河原」の下の濁川沿いにあったが火災で焼失して今はない）、湯殿山、月山などでも合宿した。有志だけではあったが、夏の穂高唐沢や立山の雷鳥沢にも遠征した。桂島（松島）の公民館に泊まって夏の合宿を行い、ボート部から借用したフィックス（六人で漕ぐ固定椅子式ボート）でチームワークを育てるため皆で心を合わせて漕ぎ、ボート部の艇庫がある塩釜と桂島の間を往復したこともあった。毎年行われた大学の運動部対抗のマラソン大会では陸上部に勝る成績を上げたことは素晴らしいことであった。工藤君や渡辺君らのノルディックチームの努力の成果であろう。

### 山小屋の建設計画と実行

学友会の運動部として成長するためには、ベースとなる山小屋の建設が必須であることを痛感していたが、その建設が実現した。当時の副部長で地質学が専門の八木健三先生と加藤君や工藤君たちを中心に、山形蔵王を始め候補地の権利関係や地質（飲料水確保のため）を調査した。一方で大学（学生部）への予算化の働き掛けと資金調達のために、中村君らが大いに活躍してくれた。富田光彦君（昭和三九年卒）を東北大学学友会の運営委員に送り出したことも大学からの認可取り付けに大きな効果があった。

蔵王温泉の老舗旅館である高見屋、大平ホテル、山形屋、樹林などの協力と支援を得て建設場所や給排水等の許可を得ることが出来た。山小屋の建設と完成は筆者が大学を去ってからのことであった。大変な努力と忍耐が必要だったと思われるが、詳細は直接関与した方々の記述を待つことにしたい。

その数年後には、高田潤一君（昭和四三年卒）、原田有造君（同年卒）、照井頌二君（同年卒）、中澤徳郎君（同年卒）たちを中心とした東北大スキー部第一期黄金時代を迎えた。近年、スキー部が学長表彰を受けるような運動部に育った背景は、萩雪ヒュッテの存在と、それと同様な場を提供してくれた白馬の清水邦敏君（昭和五七年卒）と真理子（旧姓仕入、昭和五六年卒）夫妻のヒュッテ「絆」の存在だと私は思っている。

### 八木杯の開催と参加

一九六三（昭和三八）年三月二〇日に山形蔵王で第一回八木杯争奪スキー大会が開催された。その後毎年三月の卒業時期に現役とOB・OGが一緒になって、アルペン、クロスカンントリー、ジャンプの三種目の総合成績を競う部内大会として今でも続いている。この大会は一九六二（昭和三七）年に北海道大学に転勤された八木健三先生（スキー部初代副部長）の業績を記念するもので、八木先生に寄贈していただいた優勝カップ（八木杯）を争う親睦の場である。OBの一人としては現役部員や萩雪会のメンバーとの交流を深める絶好の機会であり、在仙の加藤君や工藤君に加え、

関東地区からも石田君、青山浩志君、壺富士雄君（昭和四四年卒）らが積極的に参加して八木杯の存在意義を高めた。

これとは別に清水君の白馬の「絆」をベースにスキーだけではなくテニスの大会も毎年開催され、杉山弘一君（昭和五六年卒）や中川万規人君（昭和五七年卒）たちの努力によって萩雪会の交流の場は広がっている。

#### 個人のこと

最後に私自身のことについて少し触れておきたい。前述のように多くの先生、先輩、同輩、後輩に恵まれた事は私の人生にとって貴重なものである。一九七〇年代の数年、仕事の関係でドイツに滞在した。その間、ヨーロッパアルプスの名だたるスキー場や山々を出来得る限り訪れた。ベンゲンの滑降コースは 厳しく長く、シヤモニの谷は硬くて急斜面だった。ホルメンコーレンやインスブルクのジャンプ台は天上に高く伸びて怖かった。金ヶ崎君、八木先生、佐藤先生等が訪れて下さったし、工藤君とはスイスのインターラーケン近くのドライブインで偶然に出会ったこともあった。学生時代、小野寺満憲さん（昭和三五年卒）とは家が近かったこともあって、毎朝近くの東照宮境内の階段上りや仙山線の線路上でバランスの練習をしたり多くのことを教えてもらった。スキー以外でも仕事や勉強会等でもお世話になっている。萩雪会東京支部の前身は小野寺さん、当時在京の柳原先生、鈴木浩一さん（昭和三四年卒）、木名瀬さん、石田君たちと始めた白頭会である。清水君、壺君、上条敦君（昭和五三年卒）、八重樫誠司君（昭和五七年卒）ら東京萩雪会を支え拡大してくれた皆さんにも感謝と敬

意を捧げたい。特に壺君には拡大しつつある東京萩雪会の支部長として辣腕を振るって頂いた。

社会人になってからは、全日本スキー連盟の技術指導員の資格を取得し、仲間と東京都スキー連盟傘下の「青山スキークラブ」を設立し、後進の指導や競技会への参加と啓蒙に協力してきた。金ヶ崎君は良いパートナーの一人であった。

最後になったが、萩雪会々長の工藤君、スキー部前部長の日出間純君（昭和六三年卒）、現部長風間聡君（平成二年卒）、副部長青木俊明君（平成五年卒）、監督の小柴黎斗君（平成三年卒）たちにはスキー部創設七〇周年に向けての準備と円滑な運営を期待したい。

大学の制度や基盤は時代に応じて変化していくことはやむをえないことかも知れないが、スキー部と萩雪会は永遠の存在であって欲しいと祈念する。

なお本稿の執筆にあたって資料の整理や推敲などを手伝ってくれた工藤君に謝意を表す。

（二〇二〇（令和二）年三月記）

## スキー部「絆合宿」 in 白馬

東北大スキー部が年に数回、長野県の白馬で合宿を行うようになって早いもので15年の年月が経ちました。2004年に東北放送でスキー部ジャンプチームの抱腹絶倒ドキュメンタリーが放送され、そのビデオが萩雪会経由で回ってきました。スキー部が頑張っている姿に大笑い&感動し、当時の日出間部長、工藤武大監督に白馬に20数名で合宿できる別荘「絆」があるんですがスキー部が白馬方面に遠征するなら、宿に泊まるより大幅に費用を抑えられるのでぜひ使ってくださいと連絡したところ、すぐに堀井主将(H18卒)から2005/3月の全国戦のとき10数名で泊まりたいという連絡がありました。

それが「絆合宿 in 白馬」の始まりです。初めての合宿サポートなので我々夫婦だけでは自信がなかったので同期の中川、八重樫、津田君にも参加してもらいました。また仙台から小野木OB(H11卒)も駆けつけてくれました。

当初、別荘なので自炊になるけどヒュッテで自炊してるからできるだろうと現役に食事作りを任せてみたのですが、そのメニューの貧弱さ、不味さ(笑)に愕然としてしまい、「現役の食事の腕前はよく分かった。君たちは練習に専念し、食事は我々OBに任せなさい」と言うことになり、現在も合宿に合流できるときは我々が作ります。合宿の度に何が食べたい?と事前に聞くのですがどの世代の

現役も「ハンバーグ」としかりクエストしません。おかげで我々のハンバーグ量産の腕もかなり上達し、絆合宿の最初のメニューは「Welcome ハンバーグ」が定番になっています。

初めての絆合宿ではOBはポール練習に興じてしまい、現役の練習を目にする機会はなかったのですが、同じ年の9月に村田君(H17卒)、堀井君、柴崎君(H19卒)の3人から白馬のジャンプ台(サマ



堀井君(H18)のジャンプ

ージャンプ)に練習で絆で合宿したいという連絡を受け、その時は練習の見学と応援に行きました。私はジャンプOBなので東北大スキー部のジャンプの危うさ(少ない前傾、引けた腰、P点のはるか手前に落下等々)はよく理解しているつもりだったので、白馬のあの大きな70mの台(ノーマルヒル)を飛ぶって本気かい?と心配でしたが、その合宿で彼らの飛ぶ姿を見て、ものすごくびっくりしました。まるでオリンピック

S57卒 清水 邦敏、真理子



**一発芸大会にて寄付金 100 万円を  
かけて現役と戦う石田 OB(S58)**

栗原さん(S37卒)をはじめとする超OBの方々にも現役との親睦を深めてもらっています。ちなみに現役の自己紹介を兼ねて「一発芸大会」という腹が痛くなるほど笑わせてくれる楽しい演芸大会を披露してくれており必見です。またこの時は現役と共に小麦粉から作るピザ、生ビールとワインのパーティーが定番になっており、好評をいただいております。

ク選手の様な前傾姿勢、完璧なV字、P点超えのジャンプ!「これが東北大スキー部のジャンプなのか?!?!」あの時の驚愕と感動は今も忘れられません。正にそれが後輩達を白馬に呼んでサポートして行こうと決意した瞬間でした。

蔵王と違い白馬村にはオフシーズンに距離スキーの練習ができる専用コースがあるため夏〜秋の絆合宿は主に距離、コンバインドチームが来ていますが、アルペンチームが白馬登山で来たこともあり、またインカレ前(1, 2月)や全国戦前(3月初)には毎年絆合宿しています。アルペンチームが来るときは他のOBも来てポール練習に参加してもらい、大いに刺激を受けています。最近秋合宿の時、40年近くやっている秋雪テニス大会とタイミングを合わせ、栗原さん(S37卒)をはじめとする超OBの方々にも現役との親睦を深めてもらっています。ちなみに現役の自己紹介を兼ねて「一発



**現役とOBの親睦会**

機会がありましたらOBの皆様も絆合宿に参加し、八木杯とは異なる形で現役との親睦を深める場として利用していただければ幸いです。



## スキー部で4年間活動して本当に良かった！

H29卒の小池です。私がスキー部に在籍したのは2013年4月・2017年3月の4年間になります。クロスカントリースキーを選び、3年目には主将とチーフを任せていただきました。当時、「なんとなく面白そう！」と思い足を運び、和気藹々とした雰囲気の魅力を感じ入部を決意しましたが、最終的には4年目の3月までレースに出るほど熱中しました。本当に入部してよかったと感じています。

今回OB文の掲載ということで指名いただきましたので、僭越ながら学生時代に考えていたこと、社会人になった今感じることを記させていただきます。まず、「どうしたら速くなれるのか？チームとして強くなれるのか」自分なりに考えていたことについてです（※「速く」と書いたのは、クロカンは決して巧く滑る必要はなく、1秒でも速ければそれが正義だからです）。自分の答えは、「スキーを楽しめるようになること」でした。“ポールダッシュ 90sec×10本med”や“ガタケ”など、「なんでこんなきつい練習するのか…:」と思う人もいると思います。ですがこういったきつい夏場のトレーニングの積み重ねが、冬の滑り・結果につながり、成長の実感が喜びに変わります。下級生は上級生の言うことを信じ練習に取り組み、また上級生は自分自身が速くなることもそうですが、下級生が気持ちよく練習できるように雰囲気作りにも挑戦してみてほしいです。

H29卒 小池 祥央  
インカレで、3年目にリレーで銅メダル取れた時、4年目の10kmクラシカルでポイント取れた時、本当に嬉しかったです（泣きました笑）。ぜひやり切って成功体験を味わってください！

現在は社会人4年目になり、保険会社で働いています。仕事は決してラクではないですが、「朝△時台に起きて行うガタケTTよりはつらくない。」と思えますし、何よりスキー部でできた“つながり”が財産だと感じています。就活の際はたくさんの先輩方にお世話になりました。また“社外との交友関係”を持てるのもスキー部のつながりがあるからこそだと思います。仕事のことで悩んだときに兼ねなく相談できるのも、合宿で同じ釜の飯を食べた仲だからこそですし、スキーのライバルが仕事上のキーマンになるかもしれません。今私はロードバイクに熱中していますが、クロスカントリースキーで競い合った他大学の先輩後輩から誘っていただけ一緒にトレーニングしています。これもスキー部のつながりのおかげです。東京近郊の方、一緒に走りませんか？

今は先の見通せない、本当に大変な状況かと思えます。現役の皆さんも体調には気を付けて活動されてください。末筆ながらスキー部の今後の発展を祈念しております。

## 監督文

平成31年度卒 小柴 黎斗

去年から監督を務めさせていただいている、2018年度卒の小柴黎斗と申します。現役時代はランナーに所属していました。ここからスキー部がますます発展していくためにすべきことを、偉そうにはなってしまうですが、書いていこうと思います。

今のスキー部にまず思ってしまうことは、部員一人一人のやる気にばらつきがあり、一丸となって一つの目標に向かっていているとは言いきれないということです。たしかに、勉学とのバランス、金銭的な問題もそれぞれ違いますし、そもそも大学という自由に活動できる場所で、今の部員数50数人が集まれば、考え方が違うのは当たり前でしょう。人数が増えた弊害と言ってもいいかもしれません。しかし、一丸となって活動しなければ、東北大スキー部の強さが生かせない、ではどう解決するか。自分なりに考えましたが、何か制度を作って、やる気を強制させるのは良くないと思うのです。これは自分の経験でもありますが、主に上級生が、練習や大会で本当に楽しそうに、かっこよくスキーに取り組めば、それをみた下級生もその姿を目指し、数年後そうなり、それが続いていくことが、スキー部の発展につながるのではないのでしょうか。

この一人一人のやる気問題は難しい問題で、自分が提案した形は一つの方法だと思えますが現役の選手たちにもよく考えてほしいのです。次に、前述した、やる気問題にもつながりますが、スキー部の伝統の存在を心の片隅に置いてほしいということがあります。私は現役時代、絆でお世話になった際に(清水御夫妻、毎年絆を使わせていただきありがとうございます)、OBさんと話す機会がありました。それ以外ではなかなかOBさんと接する機会が少なく、部員の中にはスキー部の伝統を感じる人が少ない人もいます。スキー部に入って活動する上で、自分一人がいて、ただ練習をすれば、勝てるということとは絶対ではありません。というのも、近くでいえば、卒業したお世話になった先輩、遠くまでいくと、スキー部を創立してくださった先人たちが、いまのスキー部の部室、合宿所などの活動環境、河原、ガタケなどの練習メニューを作ってください、それによって自分たちは練習できています。ただ、ここでこれを書いたのは、常日頃から感謝しろ、と言いたいのではなく、たしかに感謝するのは当たり前として、私個人の考えとしては、そういった、先人たちがしてください、後世に残るような練習環境を、自分たちも卒業するまでに少しでも残そう、と考えていてほしいです。部員全員が、毎年そう思い続けていけば、これからも新しい伝統がながっていき、スキー部が強くなり続けられると思います。このような、伝統の流れの中にあることを自覚してくれば、少しはやる気も出るのではないのでしょうか。

そして最後に、私はスキーという競技とスキー部の後輩たちが大好きなスキー馬鹿ですので、現役を卒業はしましたが、練習にはできるだけ顔を出し、より現役部員に近い監督になれたらと思います。現役部員の皆さん、いつでもなんでも相談して下さい。そして、OBOGの皆さん、監督として至らぬところもあるかと思いますが私らしく一生懸命取り組みますのでどうぞよろしくお願いします。

## インカレ体験記

### インカレ体験記

手塚 尚吾

定禅寺のケヤキが梅雨空を隠す今日、インカレはかなり前に感じます。コロナ禍でインカレが最後のレースであったことを踏まえるともう少し記憶にあってもいい気はするのですが、ほのかな靄を残しほとんど風に散ってしまいました。自分でも不思議です。唯一出場したクラシカルのレース当日の冷たい感覚とラストの先輩方の応援は今も首元を熱くしてくれますが、一体全体ワックスの選択やチームリーダーとして何を指示したか、といったものはキーボードをタイプするたびに爪先から抜けていくようです。

しかしながら二年生のインカレは、湯煙どころか今でも仙台観音様のように私の#スキー部#思い出エリアに鎮座ましましております。板を折ったうまく滑れず臍をおったスケータイングや高野の涙などと我ながらに腹が温まる思い出です。おそらく「TB」くらいあります。(これが大きいかどうかは知りません。)なかでも大好きクラシカルのレースは一周目・二週目の体の「HP」や「P」変化も関数表示できそうなくらいの記憶です。不思議です。

このままでは何の体験記かわからなくなってしまうようなので、二つのインカレ体験記を比べてみることにしました。すると理由は簡単なものでした。そうなのです。なんとなくお察しの方もいらっしやるでしょう。そう、「チーフ」がいけないのです。この着物を羽織った瞬間に、純白の仙台観音様は突如内部に隠し持つ燃料が拡散し第一宇宙速度まで加速し、惑星「記憶」を飛び立つのです。

くだらない話はここまでにしても、なんだか考えてみれば三年生の一年間は忙殺された感じがします。Celeronに遠く及ばない処理能力の私はなんだかスキーは二の次の状態でした。ですから、鹿角インカレもなんやらかんやらで、あっけなく終わった気がします。なむなむ。「チーフ」の衣、恐るべし。

記憶は、選りすぐりをする贅沢なもので、鹿角インカレが私に薄いものであるのは結果も振るわなかったのも原因でしょう。先輩もいない、遠く及ばぬ鬼首獅子の存在やらで、一体自分は何をする？状態であったものですから、自ら鹿角インカレを大気圏外に追い払ったようなものです。

体験記として記録に残す分には後輩の一助になる必要があると思います。だから、立派な体験記を、と散散と思案しましたがこの様です。

教訓になるとも思っておりません。ただ、伝えるべきことは直接伝えることにします。

最後に、OB・OGの皆様へ。インカレをはじめとして多くの応援・ご支援をいただき、無事に2019/2020シーズンの・練習・大会参加を行うことが出来ました。書面ではありますが、ここに感謝申し上げます。

## インカレ体験記

浅野 颯太

2020年2月24、25日にインカレのスペシャルジャンプとコンバインド競技が行われました。自分の今年の目標はスペシャルジャンプは5位以内、コンバインドはメダル獲得としてシーズンを過ごしていました。今年は去年の反省からインカレにしっかりと標準を合わせてシーズンを過ごすことができました。というのも去年のインカレは直前にモチベーションが分からなくなってしまう、体調を崩し、何とか試合には出たものの結果も内容も不完全燃焼な中途半端なことをしてしまったからです。今年は九大戦のジャンプ競技が中止になってしまい自分達の練習の成果を発揮する場所がインカレしかないと分かっていたのでより気合を入れて調整することができました。結果として自分の目標であるスペシャルジャンプ5位、コンバインド6位を達成でき非常に満足しております。

ここからは大会当日の会場の様子について記したいと思います。まず驚いたのはお忙しい中部長である風間先生とOBの田中倫久さんが鹿角まで檄を飛ばしにお越しになられたことです。身が引き締まる思いでいい緊張感をもたらえた気が致します。今年は本当に暖かい冬でした。前日に予定されていた公開飛躍と公式練習はキャンセルとなり会場に来たはいいものの何もせずに帰らされたり、チーフとしては中々頭を悩まされるシーズンでした。当日もアプローチの氷が解けないように各ラウンドの前には液体窒素をレールに撒いて温度を下げたり、日が当たる時間帯は人海戦術でアプローチに並び影を作ったりと、役員、スタッフの方々のご尽力を肌で感じ、万全とは言い難い状況ではありましたが日ごろの成果を出す場所を作って頂き、大変ありがたい限りでありました。

自分はどうとスペシャルジャンプもコンバインドも非常に集中力をもって臨めたと思っています。二年時の九大戦の時のいい緊張感とリラククスが同居したような状況でした。特にコンバインドの日の朝はめちゃめちゃ集中していたのを記憶しています。(サバ、無言の中運転させてごめんね笑)。実のところ余り当日のことを鮮明に覚えていないので、ここからはハイライト的にお送り致します。スペシャルジャンプでは一本目、二本目共にまずまず悪くないジャンプをしました。普段から鹿角で練習している地の利を生かされた気がします。新海さんと

東大の三川さんに花を持たせてあげたということにしましう笑 スペシャルジャンプよりコンバインドの方に注力していた自分にとってジャンプの練習と思って飛べたのが逆に良い脱力感で飛べたのではないかと思えます。二日目のコンバインドは波乱続きでした。まず公式練習に半数ぐらいの人が間に合わずぶっつけ本番の人が何名もいました。恥ずかしながら自分もその一人でした。もつと時間に余裕を持って行動しろってことです。来年への反省です。役員さんとしてもレールが解けるから早く始めたかったのだと思います。公式練習を飛べなかった自分はどうとこれまでの集中力がぐっちゃぐちゃに乱されてしまいました。本番のジャンプもアプローチでバランスを崩してしまい、空中に出た瞬間にメダル終わったと思うくらいには失敗ジャンプでした。というもつけられても後半で巻き返せると踏んでいた差は東大の三川さんとは1メートル(二分以内)、新海さんとは0.5メートル(0.5秒以内)とかなりシビアなものであったからです。結果としては0位と0.5秒差の0位で前半を終えました。ジャンプが終わった後直ぐに後半のクロスカントリーに切り替えられないくらいにはショックな結果でした。それでもスタートの時にはアドレナリン全開でメダルしか見えていませんでした。遙か彼方に遠のいてしまった三川さんと0.5秒前にスタートした新海さんを追ってスタートして0.5メートル。自分は膝を地につけてもがいていました。インポールして転び、ポールを板で踏んでしまったために中々立ち上がれずもがいていました。レース後には各方面からツツコミや心配の声をいただきました。応援してくれた皆様をひやひやさせたことをここでお詫びしたいともいいます笑 自分でもびっくりしたことはレース中に転んだことは全く気にならずただ前を負うことに集中できた点でした。1周目視界にとらえている新海さんとの差が全く縮まらなかったことの方が焦りました。しかし板がシーズン1滑ってくれたおかげで1周目の最後の坂で捉えることができました。周りからの声援が本当に励みになりました。二月のシャバシャバな重い雪に合わせた滑りができ、全体の3位のタイムで総合順位3位でゴールすることができました。ゴールの瞬間カッコつけてガッツポーズをしたのですが、誰にも見られていなかったのはちよつと悲しかったです。そんなこんなで目標であるインカレのメダルを獲得することができました。

目標と気合をもって自律しながら準備をすれば目標を達成することが出来ると実感できたいい大会でした。スキーを通じて結果を出す事でこれまでの人生でスキーに関わって来てよかったなと思えるそんな素晴らしい瞬間でした。

## インカレ体験記

大沼 恭子

二〇二〇年二月二十四日から二十七日、秋田県花輪スキー場にて、インカレが開催されました。今年は記録的な暖冬と新型コロナウイルスの影響で、本当に開催できるのか心配していましたが、閉会式や表彰式の中止はあったものの、競技は問題なく開催することができ、それに尽力してくださった大会関係者の方々の始め、私たちを応援して下さっているOB・OGの皆様、蔵王での練習を支えて下さっている関係各所の皆様など多くの方々にまず感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

二十四日は女子大回転、二十五日が男子大回転、二十六日が女子回転、二十七日が男子回転の日程で行われました。私はありがたいことに今回のインカレが三度目の出場でした。昨年と一昨年は長野県野沢温泉スキー場でしたが、今年は花輪スキー場ということで、どのようなレース展開になるのか緊張していたとともに、花輪のあの難しいコースをどう攻略すれば良いのかスタートする前までずっと考えていました。花輪のコースはインスペクションをするだけでエッジが丸くなるのではないかと思ってしまうほどハードなアイスバーンでかつほとんど急斜面なので、コースオープンを大事に考えていたのですが、悪天候のためコースオープンは中止となり、恐怖や不安を抱える選手も多かったと思います。私は高校生のように大会で花輪スキー場を経験していたので、そのアドバンテージを自分の自信にして臨みました。

女子大回転の日はタイムスケジュールが押して、一本目のスタートが正午近くで、それでも集中力を切らさないよう、念入りにアップとイメージトレーニングをしました。天気も良かったので、本番では素早い切り替えと高いライン取りを意識して思い切って滑りました。特に後半は攻めました。花輪は野沢と違ってあまり掘れないので、タイムは悪くなかったのですが、ビデオを見るともっとコンパクトなライン取りをすれば二本目はもっといけると感じ、意気込んでいましたが、悪天候により二本目はキャンセルとなってしまいました。非常に残念でした。

女子回転の日は、天候にも恵まれ、二本とも完走することができました。私はもう失敗してもいいから思い切って元気よく精一杯滑りきろうと思ってスタートを切りました。一本目では、転びそうになった場面もありましたが、まずまずの滑りができたと思います。ビデオを見ると急斜面から最後の緩斜面にスピードを繋げることができなかったもので、二本目はとにかく減速させないようにゴールしようと思ってもう記憶がないくらい頑張りました。結果的に今まで勝てなくて悔しい思いをしてきた自分のライバルに初めて勝つことができ、それは本当に嬉しかったです。今回自分の目標としていた順位は取れなかったですが、自分ができることはやったので達成感を感じることができました。今年最後の年なので、まだ達成できていない目標に向けて、悔いのない一年にしたいです。今後とも、応援・御支援よろしくお願ひいたします。

## 九大戦体験記

### 九大戦体験記

高野 祥徳

19/20 シーズンの九大戦は、雪不足により一時中止説濃厚となるも直前のドカ雪のおかげで、なんとか開催されました。3年目は、一番結果を目指せる学年、そして人によっては最後の九大戦になるということで、この大会にかける同期の想いの大きさは自己中人間の私にも感じ取ることができました。そんなもんだから、フリーとクラシカルの同日開催とかになっても、やってくれるだけアリガてえ精神で大会期間中の私は幸せオーラが出ていたと思います。そうじゃなくても、ピリピリはしてなかったと思います。

先ほど書いた通り、クロカン種目同日開催という少しばかり狂った日程になってしまいました。開催できることへの感謝の心でいっぱいながらも、血尿とか出るんじゃないか、みたいな健康面での諸々の心配は、この日のために厳選してきたどんなビデオでも、打ち消すことはできませんでした。

当日の天候は穏やか、雪の状態は忘れしました。午前のフリー、自分は第一シードで出場しました。ひとつ前がみっちー(阪大)だったりと周りは速い人ばかりでした。スタート前、名大のエース佐橋くん「高野には勝ちたい、浅野はきついだろうなー(爽やか)」と言われたのを今でも覚えています。ランナーの方々はわかってくれると思うのですが、こいつはなかなか大きなダメージを受けます。そしてその後なかなか大きなやる気スイッチになります。佐橋くんと浅野くんととの距離を測りながら一喜一憂するレースには、自分の小物感を自覚しつつも抗えない快感がありました。何が言いたいかというと、みっちーには負けたけど、二人には勝った、ということなんです。

「午後はクラシカルでした」この文は合宿中のブログでしか使わないと思ってました。大会の振り返りで登場することに驚いています。大体、普通の合宿でも午前練の後は飯を食って、少し寝て回復してから午後練に向かいます。しかし、この時はフリーのレースがおわり、栄養を補給した後、結果が掲示されるのが待ち遠しくてうろうろして、そわそわしてました。今思えば、回復に専念できる時間を作ろうと思えば作れたはずで、高橋諒さんなんかは自分よりもどんと構えていたような気がします。れいとさんも去年の体験記に、コンディションに対応する柔軟性が大事だと書かれていて、手遅れ感満載のタイミングで実感しました。何が言いたいかというと、ばてた、ということなんです。

リレーはとにかく優勝できてよかった。うれしい記憶しかないので終わりです。ただ、これからチームとしてクラシカルを強化していかな



いと来年のリレーは厳しいのでは、と思っています。責任の一端を感じなくもないです。

ブログのノリで書いてしまいました。終わりです。

## 九大戦体験記

木村 香穂

第五九回九大学スキー選手権大会が、令和二年一月一日から一月四日に開催されました。雪不足により開催が危ぶまれる中、直前まで日程などの調整を行い、開催に漕ぎ着けてくださった運営の方々や、開催にあたって多くのサポートをしてくださった野沢温泉スキー場の方々に感謝します。

アルペン競技は、大回転、回転ともに一月三日に湯の峰ゲレンデにて行われました。

大回転は、昨年よりクロージングが上手くなったと思っていたので、緩斜面の湯の峰ゲレンデなら、その成果を発揮できるなと思いましたが、しかし、結果は三位でした。目標は二位だったので残念でした。思ったより遅かった理由は、漕ぐのが下手だったからだと思います。結果は、個人的には少し残念でしたが、新たな課題が見つかり、その後の練習に生かされたので良かったです。

回転は、細かくまっすぐで、リズム変化が多いセットでした。思った以上にスピードが出て楽しかったです。ずっと練習をしていると楽しさを忘れることもありますが、やはりアルペンスキーは楽しいなと思いました。結果も二位で、目標を達成できたので嬉しかったです。

今回は、応援団の方々も初日から来てくださりました。滑っている間も力強い応援が聞こえてきて（私が遅いからです）、非常に励みになりました。もちろん、部員がスタート前に応援してくれたり、ゴール後に労いの言葉をかけてくれたりすることも、とても励みになっていました。嬉しかったです。いつもありがとうございます。

今回の九大戦は、私にとっては最後の九大戦でした。悔いが残った部分もありますが、出場してよかったなと思える大会となりました。ここで、上手くいかなかったり負けて悔しいという気持ちも、嬉しかったり楽しかったりという気持ちも持てたから、インカレまで練習を頑張れたと思います。そして、思い返してみると、ずっとその両方の気持ちがあったから四年間続けられたのかなと思います。だから、心の中で勝手にライバルにさせてもらっていた方々や、一緒に練習をしてスキーを楽しんでいる方々には感謝しています。

重ね重ねになりますが、悪条件の中、大会を運営してくださった運営の皆様、開催にあたって力を貸してくださった野沢温泉の皆様、特

に冬季の練習でお世話になっている秋雪ヒュッテの安食さんや蔵王温泉スキー場の皆様、そして日頃から私たちの活動を応援し、サポートしてくださっているOBの皆様には感謝しています。皆様のおかげで練習し、大会に出られています。ありがとうございます。

令和元年度 成績表

第 59 回国立九大学スキー選手権大会			
野沢温泉スキー場			
男女総合 1 位 男子 1 位 女子 1 位			
男子 SL			
正シード	順位	名前	合計(1 本レース)
	22	榮治 智之	0:55.33
	26	門屋 快	0:58.42
	35	保達 洋	1:10.34
	37	池田 翔	1:15.17
	DQ	鈴木 昂	
	DS	藤野 寛司	
オープン	順位	名前	合計(1 本レース)
	DQ	飯塚 比翼	
女子 SL			
正シード	順位	名前	合計(1 本レース)
	1	大沼 恭子	0:47.82
	2	木村 香穂	0:51.46
男子 GS			
正シード	順位	名前	合計(1 本レース)
	16	池田 翔	0:36.10
	24	榮治 智之	0:37.48
	34	鈴木 昂	0:40.69
	35	保達 洋	0:41.46
	39	飯塚 比翼	0:47.53
	DS	藤野 寛司	
オープン	順位	名前	合計(1 本レース)
	8	門屋 快	0:39.88
女子 GS			
正シード	順位	名前	合計
	1	大沼 恭子	0:36.83
	3	木村 香穂	0:38.14

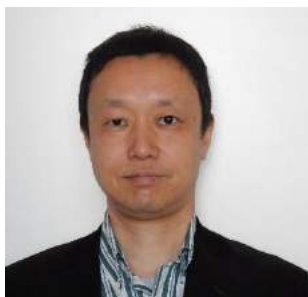
男子 10km FR				男子 5km CL			
正シード	順位	名前	タイム	順位	名前	タイム	
	2	高野 祥徳	34:29.3	2	高橋 諒	18:59.3	
	3	高橋 諒	34:38.3	5	手塚 尚吾	19:12.8	
	9	浅野 颯太	35:52.9	7	高野 祥徳	19:32.1	
	12	手塚 尚吾	37:57.9	16	白木 悠大	21:09.5	
	20	岡田 拓歩	39:47.6	22	細井 拓真	23:21.2	
	24	新海 孝洋	41:22.6	25	松尾 優太朗	23:58.4	
オープン	順位	名前	タイム	順位	名前	タイム	
	2	中田 和真	42:09.9	2	堀 倫彰	23:25.9	
	3	堀 倫彰	44:44.6	3	中田 和真	24:35.2	
	4	林 直志	44:59.1	4	橘 紀晶	26:01.1	
	5	小林 幹太	47:42.9	DS	岡田 拓歩		
	7	橘 紀晶	51:48.6				
女子 5km FR				女子 5km CL			
正シード	順位	名前	タイム	順位	名前	タイム	
	6	島田 菜理紗	22:09.2	7	島田 菜理紗	27:13.7	
	7	三嶋 怜奈	22:12.4	11	竹井 しのぶ	30:39.9	
	8	竹井 しのぶ	22:15.9				
男子 5km×4 リレー							
正シード	順位	タイム		/			
	1	東北大学	1:12:08.4				
		高橋 諒	18:12.0				
		手塚 尚吾	19:06.2				
		高野 祥徳	17:29.4				
		浅野 颯太	17:20.7				
オープン	順位	名前	タイム	オープン	順位	名前	タイム
	3	東北大学 B	1:39:14.9		4	東北大学 A	1:47:29.5
		堀 倫彰	23:38.7			橘 紀晶	25:29.0
		細井 拓真	22:36.8			白木 悠大	21:56.0
		門屋 快	31:08.5			鈴木 昴	37:45.3
		小林 幹太	21:50.8			林 直志	22:19.1

	5	東北大学 C	1:49:06.8	
		中田 和真	22:54.2	
		松尾 優太朗	23:58.3	
		飯塚 比翼	41:41.5	
		岡田 拓歩	20:32.6	
女子 3km×3 リレー				
正シード	順位	タイム		
	2	東北大学	44:01.6	
		島田 菜理沙	16:45.0	
		三嶋 怜奈	13:38.0	
		竹井 しのぶ	13:38.5	

秩父宮杯・秩父宮妃杯 第93回全日本学生スキー選手権大会					
アルペン：花輪アルペンコース					
クロスカントリー：鹿角市花輪スキー場クロスカントリーコース					
ジャンプ：花輪スキー場花輪シャンツェ ミディアムヒル					
男子2部5位 女子2部6位					
男子2部SL					
順位	名前	1本目	2本目	合計	
49	鈴木 昂	1:15.91	1:11.78	2:27.69	
DS	門屋 快				
DF	保達 洋				
女子2部SL					
順位	名前	1本目	2本目	合計	
20	大沼 恭子	52.53	57.30	1:49.83	
30	木村 香穂	57.28	1:01.99	1:59.27	
男子2部GS					
順位	名前	1本目	2本目	合計	
33	志関 弘平	1:02.72	1:00.27	2:02.99	
58	鈴木 昂	1:24.83	1:18.09	2:42.92	
DF	門屋 快				
DF	保達 洋				
女子2部GS					
順位	名前	1本目			
24	大沼 恭子	1:01.34			
DF	木村 香穂				
男子2部10kmFR			男子2部15kmCL		
順位	名前	タイム	順位	名前	タイム
11	石井 顕徳	27:35.8	9	高橋 諒	42:16.3
23	高橋 諒	29:12.7	25	手塚 尚吾	47:22.4
31	高野 祥徳	31:36.6	46	橘 紀晶	55:50.2
40	白木 悠大	33:21.7	47	白木 悠大	55:56.0
45	細井 拓真	34:55.9	DF	高野 祥徳	
女子2部5kmFR			女子2部10kmCL		
8	島田 菜理紗	20:59.8	7	島田 菜理紗	45:37.8

男子2部ミディアムヒルススペシャルジャンプ				
順位	名前	1本目 得点	2本目 得点	合計
4	新海 孝洋	75.1	75.5	150.6
5	浅野 颯太	68.1	75.6	143.7
11	小林 幹太	42.7	40.3	83.0
棄権	大坪 奏祐			
女子2部ミディアムヒルススペシャルジャンプ				
順位	名前	1本目 得点	2本目 得点	合計
棄権	竹井 しのぶ			
男子2部ノルディックコンバインド 5km				
順位	名前	ジャンプ 得点	クロスカンтриー タイム	
3	浅野 颯太	62.0	13:20.4	
5	新海 孝洋	63.4	13:54.9	
13	小林 幹太	11.3	15:24.7	
DS	大坪 奏祐			
男子2部3×5kmリレー(C・F・F)				
順位	走順	名前	タイム	合計タイム
6	1	高橋 諒	13:43.3	38:58.0
	2	高野 祥徳	13:14.4	
	3	石井 顕徳	12:00.3	
女子2部3×5kmリレー(F・F・F)				
順位	走順	名前	タイム	合計タイム
1	1	三嶋 怜奈	15:50.6	51:08.3
	2	島田 菜理紗	17:17.8	
	3	竹井 しのぶ	17:59.9	

## 部長・監督紹介



風間 聡 部長

お忙しい中、部長としてスキー部のために尽力して頂いております。部員一同心より感謝申し上げます。今後ともご指導よろしく願いいたします。



青木 俊明 副部長

お忙しい中、副部長としてスキー部のために尽力して頂いております。SPUR の発行にも携わっていただきました。今後ともご指導よろしく願いいたします。



安食さんご夫妻

ヒュッテの管理人をしていただいております。夏合宿やアルペンの冬合宿のコーチもしていただいております。

あのんちゃん、はるくんは仲良く元気に過ごしています。



小柴 黎斗 監督

今年より監督としてお世話になっております。お忙しい中、スキー部の練習にもよく参加して下さります。今後ともよろしく願いいたします。



## 部員紹介

### 一年生



齊藤 匠

髪染めがち



岩佐 帆夏

キラキラ系女子



渡部 新

交通安全に努めて  
いる



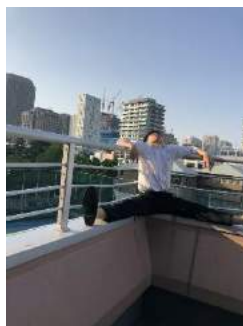
尾碕 明

めいウェザー



石橋 賢

頭よさげ



山内辰馬

たっつー  
愛犬家

### 二年生



鈴木 昂

アルペン

スバル。パリピ。  
うるさい。



堀 倫彰

ラン

飲み込みが早いテ  
クニシャン。



高橋 諒  
ラン

次世代エース。  
アニメ好き。



中田 和真  
ラン

岡田ジュニア。



大坪 奏祐  
コンバ

ポニョの主人公  
そうすけ。

### 三年生



榮治 智之  
アルペン

笑顔がかわいい。



志関 弘平  
アルペン

アルペンのでえべ  
テランだあ。



岡田 拓歩  
ラン

最近面白いらしい  
…？



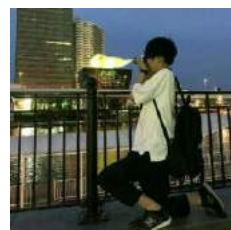
橘 紀昌  
ラン

バナ。せんぱああ  
い。



小林 幹太  
ラン

鯖。サバ。



保達 洋  
アルペン

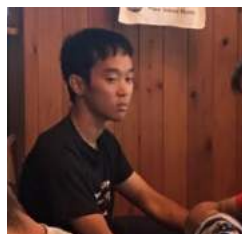
法律のことならお  
まかせ

## 四年生



浅野 颯太  
コンバ

暇人。ポッキーに  
いさん



高野 祥徳  
ラン

デコひろし。  
寝ぶっち。



池田 翔  
アルペン

チャンカワイ。ナ  
イーブ。



手塚 尚吾  
ラン

チョコボーイ手塚  
変態野球坊主。



大沼 恭子  
アルペン

ミス・ドフラミン  
ゴ。



藤野 寛司  
アルペン

2浪丸。癖が凄い



島田 菜理沙  
コンバ

していがる。う  
っす、うっす！



細井 拓真  
ラン

ダニエル。ダニエ  
ルって誰だよ



白木 悠大  
ラン

登山家。おばあち  
ゃん。

## 六年生



石井 顕徳  
ラン

どんちゃん。

## 令和元年度 スキー部活動報告

▽第 59 回国立九大学スキー選手権 @野沢温泉スキー場



今年も男女ともに優勝しました！雪不足のため短縮日程での実施で、ジャンプ競技は実施できませんでしたが、クロカン、アルペンともに好成績を残すことができました！



↑男子リレー1位となったチームメンバー



↑女子GS,SLともに1位の大沼選手

▽第 93 回全日本学生スキー選手権大会 @花輪スキー場



男子 2 部で 5 位、女子 2 部で 6 位という結果でした。また、女子 2 部リレーでは 1 位という素晴らしい結果を残すことができました！！



↑女子 2 部リレー1 位のリレーメンバー

## コロナ渦における活動状況

小林幹太

今年度のスキー部は新型コロナウイルスの感染拡大の防止をするため、体育部の活動自粛という方針によって、様々な活動が制限されました。新歓合宿を含め、対面を伴う新歓活動、北雄杯、亀岡祭り、初ジャン、夏合宿、個々の部門の合宿など、新入生にとっても私たち上級生にとっても悔しい前期となりました。そんな中でもオンラインによる新歓活動で積極的に新入生と交流できたことは評価できますし、入部してくれた6人にはとても感謝しつつも一緒に頑張っていた気持ちに満ちています。今年の新入生は個々のやる気が強く、とても期待できます。実際の活動につきましては、体育部の方針に沿って出来ることからやって来ました。最も規制が厳しかった6月はZoomを用いた自重トレーニングや個人でランニングが主な練習内容でした。7月の半ば頃から少しずつ緩和され、少人数でのLSD(Long slow distance)、ローラースキーを行い、また夏休みにはSUP体験も行って、少しずつ新入生とも対面で交流できるようになりました。それでも今年の活動は、冬に向けたオフトレが十分に出来たとは言えない状態です。これは他大学にも言えることですが、やはり行事の目玉である合宿や新歓コンパなどが中止になり、モチベーションの低下が起きてしまった事は否めないと思います。部の士気を保つことが私たちの役割の一つであります。少人数で出来るトレーニングを考案するなど、もっと積極的に行動できたのではないかと思われる部分もあり、反省するところです。

9月現在、対面授業一部再開に向けて、まだスキー部を知らない新入生の勧誘と、直に迎えるシーズンの準備を進めていきます。大学のトレーニングルームやアリーナも使用可能となり、あとは合宿が解禁されればほとんどのトレーニングが再開できることとなります。ジャンプコンバインドは特にサマージャンプにある程度行くことが冬に向けて重要でありなるべく早く新入生にも経験させたいところです。OBの方々との交流のめどが立たないのは残念ではありますが、規制緩和を待って機会を設けたいと思っております。

## 幹部文

### 主将・コンバチーフとして

主将・コンバインドチーフ 小林幹太

今年度スキー部主将・コンバインドチーフに就任しました、小林幹太と申します。私がスキー部員になって二年過ぎが経ちました。主力選手もどんどん入れ替わり、部の雰囲気もまた毎年大きく変化しているように感じます。その中でも何を思っただけで大学で出会ったスキーに向き合っているか、自分は九大戦をはじめとした試合でどんなパフォーマンスを目指しているのか、そういった姿勢はいつも変わってほしくないし、それを守り次の代に引き継げるようにしたいと思っております。その中で各々のスキーを存分に楽しめることができれば、主将としては本望です。

東北大学スキー部は様々な人とかかわりを持って活動しています。OBOGの方々をはじめ、ヒュッテを管理していただいている安食さんご一家、外部コーチ、SPURに広告を出していただいている企業の方々、スキーやワックスの販売をいただいている方々、合宿の宿泊先の方々、考えてみるとかなり多くの方と交流し、支えていただいています。四年間という短い時間の中で練習したこと、身につけた知識を形にしていくのは簡単とは言えません。人の支えがなければなおさらです。それがどれほどの恩恵をもたらしているのかを考えれば、人との関係を保ち深める重要性に気付くはずで、最近の部内は縦のつながりが薄いような印象を感じます。一体感の弱まりにも関連していると思います。部門内での連携はもちろん学年を超えた雰囲気づくりに努めます。今年度はコロナウィルスの影響がとて大きく、部活動の自粛を強いられました。実際に面と向かって会う機会が減ってしまった中、今まで以上に積極的なコミュニケーションが求められます。そういった状況にも対応できるようにこの部を支えていきたいと思っております。

コンバインドチーフとしてはまず、メンバーのジャンプに対する知識、引き出しの数を増やしたいと思えます。スキージャンプはアプローチの入り方、サツツの主に二つがジャンプの出来に非常に関わっています。つまり、全て一瞬といってもよいほどの時間で遠くまで飛べるかどうかが決まってしまうのです。一本一本を集中し、自分の中で変化していく必要があります。そんな時に次はどうやって飛んでみよるか、自分で考える習慣をつけてほしいと思います。重心の位置、脚の引き方、サツツの方向、目線、踏み方、挙げればたくさん引き出しになりうる要素があります。私もまだまだ改善の余地はたくさんありますし、理解していないこともあるかと思えます。スキージャンプは頑張

った分だけうまくなるとも言い切れません。なかなか伸びなかったり、急に見違えるようになることもあります。だからこそ、あらゆる引き出しを作り、試行錯誤する環境を作りたいと思います。目標は、九大戦はメダルを人以上、インカレは五位以上を目指します。部としての目標は、九大戦総合優勝です。至らぬところもあるかとは思いますが、部全体、コンバインドの目標を達成するべく幹部全員で頑張りますので、変わらぬ応援、ご支援の程、よろしく願います。

ランナーチーフとして

ランナーチーフ 岡田拓歩

今年度ランナーチーフを務めさせていただく岡田です。一年間よろしく願います。

今年度は九大戦ではクロスカントリ部門での得点一位、リレーでの一位獲得、インカレではリレーでの入賞、全国公ではクロスカントリ部門得点一位を目標としようと思います。今年度は昨年の大会でポイントを取っていた先輩方が多く抜けてしまうので、目標達成のためには昨年ポイントをとれなかった部員がポイントをとれるように成長することが重要になります。そのためには部員一人ひとりが目標を立てその目標を共有し、個人としてもチームとしてもどのように動けばその目標を達成できるかを考えて練習するというのが肝心だと思います。自分の体験となってしまうますが、高校の部活で、各々がどういつもりで部活に入り、どういう意図で練習しているのかを互いに知らないせいで部活にあまり参加しない部員が出たり、練習がなあなあになってしまい結果としてそこまでうまくもならず、大会で大きな結果を出せるわけでもなく、何となくで部活を終えてしまうということがありました。大学ではそのようなことがないように互いに何をしたいのかを理解して個人とチームのレベルアップに努めるようなチームとなるようにしていこうと思います。具体的には合宿の最初にその合宿での目標をそれぞれが立ててそれに向けて練習し、合宿の終わりにどのくらい達成できたか、どうして達成できたのか、またはどうすればより達成度を上げられたのかを互いに言い合う時間を設けるなどの相互理解を深める時間を設けようと思います。

時勢の影響で様々なことが探り探りとなり不安も多くありますがチーフとしてチーム全体のスキルアップのために尽力するつもりです。最後になりましたが、昨年度は多くの方々にご支援いただき誠にありがとうございました。まだまだ至らないところも多くありますがランナー一同努力いたしますので今年度も応援よろしく願います。



## アルペンチーフとして

アルペンチーフ 保達洋

今年度アルペン部門のチーフを務めさせていただきます。保達と申します。私はチーフを務めるにあたって、一年を通して一つのチームとして動くことを念頭に置き、行動していきたいと思えます。これを読んだ方々は、そんなの当たり前じゃないか、あるいは大会の成績を目標にするべきだろう、と思われるかもしれませんが、私はチームとしての行動がアルペン部門にとって非常に重要な要素であり、また困難な課題であると考えております。

アルペン部門はその競技の性質から、技術レベルや目標、モチベーションが個人によって大きな差が存在します。このことがチームとして結束することを困難にし、良くも悪くも自由な部門となっており、この自由さによって個人の差はいよいよ広がり、上達する人とそうでない人が生まれ、また、モチベーションの低下により練習参加率が悪くなってしまいます。私はこのような差を乗り越え、部員同士の結束を強めていきたいと考えております。

この目標を達成すべく、私はチーフとして部員の声にしつかりと耳を傾けるよう努力いたします。部員は部員である以前に一人の大学生であります。スキーに対する感情は人それぞれ大きく異なります。そんな一人一人の思いを把握し、全員が気持ちよく部活動に参加できる環境を整えていきたいと考えております。このことが冬の合宿の質にもつながり、有意義な合宿を送ることで技術の上達、ひいては大会での好成績につながるのだと思います。部員全員がそれぞれの目標に向かい、そのことを部員同士が理解することができれば、良いチームになれるのではないのでしょうか。

私はスキーの経験が非常に浅く、かっこよく滑ることができません。そんな、アルペンチーフとして頼りない私ですが、部員と協力してできる限り良いチームを作っていこうと思います。よろしくお願いします。

## 部員文

### 一年生

#### アラティイの生態

石橋賢

はじめまして、農学部1年の石橋賢です。名前は「けん」ではなく「さとし」と読みます。どうぞよろしく願います。

高校では渡部新（アラティイ）と同じ学校同じ部活でした。今回はそんなアラティイの高校三年間でわかった生態を紹介したいと思います。まず、アラティイは変態です。異性への愛情の欲求は著しく、彼女にしたいかしたくないかで常に女性を判断します。噂ではアラティイは、某高校の文化祭に行ったときに、女子生徒をナンパして彼女を作ったらしいです。しかし、交際期間は長く続くわけもなく知らないうちに終わってしまいました。「価値観が合わない」このようにアラティイは言われたそうです。また、アラティイはいわゆる露出狂と呼ばれる種族に分類されます。合宿所では常に上裸、八幡平での合宿では、パンツ一枚で段ボールに頭を突っ込み、クツキーをむさぼり喰っています。そして、アラティイは精神が高揚すると胸をはだけ、地肌を露出させようとします。奇声を発したら、アラティイとソーシヤル

ディスタンスを保ち、「何してんの」という視線を送りましょう。

さらに、アラティイは「ツンデレ」という習性をもっています。私はリフトに乗っている間、アラティイとコミュニケーションを取ろうとしますが、途中で黙ってしまいます。そして、私も黙っていると、突然ヘルメットを殴ってきます。一緒にリフトに乗るときは話が切れないように声をかけ続けてあげましょう。

高校三年間、私はアラティイを観察してきました、このような残念な生態しか見つけることができませんでした。しかし、私が見つけることができただけで、アラティイにも良い生態はあるはずです。ぜひ、目を皿のようにして観察してみてください。

#### 私のタピオカ愛について

岩佐 帆夏

初めまして、今年スキー部に入部しました、経済学部の岩佐帆夏です。2002年2月20日生まれで2と0しかつかないので20歳の誕生日が楽しみです。札幌北高校出身で、新入生の中に私の他に札幌出身が二人もいて嬉しいですね。中高ともに陸上部に所属していて、部門は中長距離でした。小学生の時にアルペンをやっていたのですが、中高はカーリングをしており、競技は6年のブランクがあるので、不安

と恐怖心はたくさんありますが、これから頑張つて先輩方や同級生に追いつけるようにしたいです。大学生での目標は清楚系おしとやかオトナ女子になることです。

ここからは私のタピオカ愛を語ろうと思います。私は世間で流行る前からタピオカが好きです。私は二年の七、八月にタピオカ専門店でバイトをしていました。つまり、タイミン的に私がバイトしたらタピオカが流行り始めたようなものなのです！笑 これはさすがにたまたまだと思いますが、私は流行る前から働いていたし、流行りに関係なくタピオカが好きだったので。しかし、タピオカが流行り始めてからタピオカの話をする、男子などから、JKの飲み物だとか、流行りに乗りたいのね〜とか言われて、周りのJKと同じにするな！と思つたし、私とタピオカを飲みに行った日に、友達がインスタ映えスリーツアカウントに映える背景をバックにお洒落なタピオカの写真を、お店の細かい営業時間などと共に載せてるのを見ると、ビジネス感があつて少し悲しかったです。もちろんタピオカ好きな友達が増えて一緒に飲みに行つたり、札幌にもタピオカを扱うお店が増えたりしたことは嬉しかったです。しかし、ニュースでインスタ映えのためにタピオカを買って飲み切らないで捨てたり、公共の場に置いていく問題が取り上げられると、やはり悲しかったです。タピオカはキャッサバという芋が原料であり炭水化物なので、いっちゃえば主食になります。私はタピオカを飲んでご飯を食べないタピオカダイエットをした時期もあつたほどです。1杯でおなかいっぱいになれるし、なにより

飲み物やタピオカの味の種類が豊富なのできつと好きな組み合わせに出会えるはずですよ。お店によってタピオカの大きさや固さ、味が違うので色々なお店に行つて色々な味が楽しめます。私はたくさんのお店でタピオカを飲んできましたが、元バイト先のタピオカに勝てるものはありません！ぜひイクリー札幌に行つてみて下さい！

### 自己紹介とスキー場紹介

尾碕明

こんにちは、初めまして。今年からスキー部に入部しました、法学部一年の尾碕明（おぎきめい）です。出身は北海道で、中学ではソフトテニス、高校ではソフトボールをしていました。北海道民なので小さい時からよくスキー場に連れて行かれていましたが、小6から基礎スキーを始めました。競技スキー経験はゼロです。そこで（?）、突然ですが、私がいつも滑っていた手稲山の紹介をしようと思います！

手稲山のスキー場は2カ所に分かれており、上がテイネハイランド、下がテイネオリンピアとなっています。名前からも分かる通り、札幌オリンピックの際にはコースとして使用され、今もハイランドゾーンのコース名には男女大回転、女子大回転などが残っています。私はほぼハイランドゾーンで滑っていたので、ここからはハイランドゾーンの紹介となります。

●三浦雄一郎&スノードルフィンズスキースクール

私はここで教わっていました。このスクールの代表はあの冒険家の三浦雄一郎さんです！三浦雄一郎さんはよく手稲に滑りに来ておられて、三年前くらいに私が借りていたスキー場ロッカーの何個かとなりが三浦雄一郎さんのロッカーでした。感動！息子で元オリンピックモーグル日本代表の豪太さんはスクールで小さい子に時々教えていらっしやいます。羨ましいですね！

●スカデイー

ハイランドにあるレストランです。最近メニューが増えた気が・・・カレーライスが美味しいです。

●北壁

ハイランドにあるコースで、きっと北海道の中でもかなり急な方のコースだと思えます。元々急斜面な上、コブがすごいのですが午後になると全体が日陰になりガリッガリになって最悪のコンディションになることが多いです。そこを滑ると、とても疲れます。北壁マスターという検定もあるのですが、まだ合格者は一人もいないとか・・・

こんなところでスキー場紹介は終わりにします。魅力的なスキー場ですよね！

競技スキー経験がないので、これからの色々な種類の競技や選手の皆さんとの出会いがとても楽しみです。今年はコロナの影響で先輩方と対面できることなく入部となりましたが、これからの部活生活が最高のものになるように願っています。これから頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

ラーメン二郎。それは日本が生んだ世界の宝

齊藤 匠

ラーメン二郎。それは「ラーメン」、いや、「食」の頂点に君臨するものである。詳しく説明していこう。ラーメン二郎とは、絶大な量、圧倒的な味の濃さ、驚異のコストパフォーマンス、そして繊細に調整できるトッピングを売りにしているラーメン屋である。ラーメン二郎の麺は極太平打ち麺であり、「小」サイズで重さは普通のラーメンの2倍である。そしてその上に大量のもやしとキャベツが山のように載っている。これらはヤサイ、と呼ばれる。そして分厚い肉塊のようなチャーシューが2つ存在する。チャーシューというよりは角煮（丸いのだが）をイメージしてもらった方が分かりやすいかもしれない。これは豚、と呼ばれる。信じられないほど柔らかく、口の中で溶けてゆく。二郎のスープはチャーシュー用の豚肉や豚骨、キャベツの芯やニンニクなどの香味野菜、背脂を煮込んで作られる超濃厚な乳化スープであ

る。いい香りがしてたまらない。背脂たっぷりだ。さて、これだけ豪華なラーメンであるから、普通に考えれば1000円は超しそうである。しかしラーメン二郎はこれを750円で提供しているのだ。信じられないコストパフォーマンス！学生の味方！そして二郎では「コール」と呼ばれるシステムによってヤサイ、アブラ（背脂の量）、ニンニク、カラメ（味を濃くする）を調節できる。素晴らしい。しかしこのコール以外にもラーメン二郎は他のラーメン店と違う部分があり、行きづらいつころもあるだろうから、コールを含め、二郎でラーメンを食べる流れを説明させていただく。

- 1 ラーメン二郎に行く。そして列に並ぶ。
- 2 券売機で券を買う。券は色のついたプラスチックである。初めての人は小を頼もう。
- 3 麺の量を伝える。並んでいると店員さんが麺の量を聞きに来る。このとき、券を見せながら、麺固め、麺少なめなどの好みを伝えられる。初めての人は麺少なめがおすすりめである。
- 4 席に案内されたら座ろう。このときカウンターに食券を置き、セルフサービスの水をくみに行こう。
- 5 コールをする。「ニンニク入れますか？」といわれたら、先ほど紹介したトッピングの量を伝えよう。ヤサイマシ、などのようにいうと量を増やせる。迷ったら、そのままです！といっておけば大丈夫。
- 6 食べる。

7 食べたら自分でテーブルを拭いて店を出よう。友達は外で待つのが原則である。あーおいしかった！  
以上です！

### 初めの自己紹介

山内 辰馬

はじめまして！今この文章を書いているわけですが、spurについてまだよく分かっていません。（スパーではなくシユプールと読むんですね！）が、先輩方の一年生のときに書いていた文章を拝見したところ、不思議な物語を書いていらつしたり、サバについて物凄く情熱的に語っていらつしたりしていると思いきや大胆にwikipediaを引用していたり（そういえば昨日船でサバ釣りにいきました！5匹釣れました。どうでもいいですね、すみません）、胎児の頃の日記を書いていたりと、ホントに自由な部誌のようなので、一年生としてまずは自己紹介から始めたいと思います。申し遅れました、山内辰馬と申します。読みは普通にタツマで、英訳するとDragon Horseです。坂本竜馬からとったそうです。生い立ち、神奈川県に生まれ、地元の小中学校に行き、中学生からは東京にある中高一貫男子高校、芝学園に通ってました。部活は中学一年生から高校二年生の冬まで競技スキー部に所属し、アルペンスキーをやっていました！大会歴は、

高校一年生の時にGSで関東大会に、二年生の最後の年にGSとSLで関東大会に出場しました。(関東大会と聞くと凄そうですが、東京予選会は上位50人に入れば関東大会にいけるので、頑張れば誰でもいけることができます!)ちなみに高校2年生のときは部長を務めてました。芝学園時代について話すと、中高男子校だったため、もちろん6年間関わったのは男子のみ。僕の恋愛のピークは小学生ということになります。教室に男子しかいない空間に慣れすぎたため、大学の授業に恐怖を抱いていたのですが、考えてみれば僕は工学部でほぼ男子校状態なので、いらぬ心配だったなど。あれ?このままだと社会に出れるか不安になりました。とはいえ、あまり気にすることなく大学生活を歩もうと思います。男子校の弊害がどこかの場面で出ないことを祈るばかりです。工学部っぽいことを話そうと、世界の始まり、すべての原点について話そうと思ったのですが、長くなりそうなので割愛します。興味がありましたら、僕に声をかけて頂ければ語りだしますよ。改めてまして、よろしくお願いします!

### ワタベじゃなくてワタナベです

はじめまして、工学部一年の渡部新です。ワタベではなくワタナベです。どうぞよろしくお願いします。

高校は石橋賢と一緒に部活もビシバシサトシと一緒にでした。ビシバシ

### 渡部新

は高校でスキー部のほかに水泳部と兼部していました。夏は水泳部へ行きプールサイドでくつろぎ、部室で麻雀をして過ごしていたようです。そしてビシバシは冬になり寒くなってくると、兼部であるという立場を悪用して帰宅していました。水泳部にはそろそろスキー部の練習に参加すると伝え、スキー部にはまだ水泳部の練習に参加すると伝え、二枚舌ビシバシは帰宅していったといわれています。ビシバシのヘルメットは汚いのですがこれは二枚舌帰宅によるものです。ある日高校のスキー部OB会がいくつか新品のヘルメットをくださったのですが、二枚舌帰宅をしていたビシバシは新品ヘルメット争奪じゃんけんに参加できず、後日お古のヘルメットを受け取ることとなりました。冬にビシバシのヘルメットを確認して、彼の愚行を笑ってください。ちなみに僕は容姿端麗小顔ボーイなのでヘルメットのサイズの関係でじゃんけんに参加することなく新品ヘルメットをいただきました。また、ビシバシは一緒にいると永遠にしゃべり続けるのでとても鬱陶しく感じるがよくあります。リフトで隣になると突き落としたりするほど鬱陶しいです。ビシバシは「親が関西圏だからめっちゃしゃべるんだよ」と言い訳してきます。実際母ビシバシもおしゃべりです。ビシバシとこの文句ばかり書き連ねましたが、良いところもあります。多分。

## 二年生

### ねこ紹介

大坪 奏祐

私は最近インスタグラムをはじめました。インスタには自分がフォローしていたりよく見ていたりするコンテンツからおすすめの画像を表示する機能があります。私の最近のおすすめにはサッカーや筋トレ、スキー、そして猫の画像がよく表示されます。なので、インスタグラムで見つけた、気に入っている猫について書きます。

その猫は、Bobbie(ユーザーネーム：thatcabbie)という猫です。画像を見てもらえれば一瞬でわかると思うのですが、かなり独特な容姿をしています。ふわふわとした長いグレーの体毛、つぶれた鼻、そしてなんととってもあまりに強すぎるその目力。目尻は上がり、カッと見開かれた黄金色の目に切り込まれたような細い瞳。おまけに顔の毛の濃淡が目を強調するかのようで、彼女の眼には迫ってくるような強烈なインパクトがあります。もちろん、光の弱いところでは瞳孔が開き、黒目が大きくなるのですが、それもまた迫力に加えて愛おしさを与えてくれます。

ボビーは、中東のカタールで捨てられそうになったところを救出されたメスのペルシャ猫です。子猫の時に拾われ、今はウェールズで生活しています。とても大切に育てられ、町や遺跡のようなところに連

れられて散歩している動画などもあります。散歩の動画では、ボビーはリードにつながれていますが、特に嫌がる様子もなく、とてもおとなしい猫です。個人的には、すごく地味な動画ですが、ボビーが爪切りをされている動画が結構好きです。

そんなボビーには現在、13.2万人ほどのフォロワーがいます。とてもたくさんの人から愛されている猫です。参考程度にですが、小島よしお(ユーザーネーム：kojmayoshiopiya)のフォロワーは5.2万人、長州小力(ユーザーネーム：koking1972)のフォロワーは1915人です。(私はどちらのアカウントもフォローしていませんが今でもたまに見たくなるぐらいには好きです。)

この猫の魅力を言葉で伝えるのは難しいので、気になった方がいたら調べてみてください。また、他にもかわいらしい猫はたくさんいるので、動物が好きな人は見てみるといいと思います。

今年も頑張ります。

### 初めての納税

鈴木 昂

先日初めて軽自動車税の納税を行った、正確には消費税などを含めれば間接的に納税したことはあるが、直接振り込んだのは初めてであった。自分をはじめ大学生の大部分は親の扶養に入っており、納税する機会は少ない。今回軽自動車税を払ったのは昨年原付を買ったからで

ある。思った以上にコンビニで簡単に2000円納税するだけだったため2分で終わる納税であったが面白い経験であった。仙台市の市税はペイジーにて払うことも可能なようなので次回納税するときには試してみたいと思った。

## 千字詰める

高橋 諒

またボツった。やはり千字に詰めるにはそれなりに小さな話題でなければならぬ。誰にも全貌を明かしていかない一人旅の話を書いたところで収まる訳がない。終盤に差し掛かることなく千字を超えてしまった。ということでもう少し小さな話題について書いていこうと思う。意外かもしれないが、私はアニメが大好きだ。自粛期間中も今期放送しているものから過去の作品までジャンルを問わず興味をそそるものから手当たり次第に漁っている。いわゆるヲタクというジャンルに分類されるような人種だ。

皆さんは去年の春アニメ、今年の冬アニメとして一期、二期が放送された「異世界かるてっと」という作品をご存知だろうか。角川文庫から出版されているいわゆる異世界モノと呼ばれるジャンルの四作品のキャラ達をクロスオーバーさせて学園モノにした作品だ。元いた世界のネタをこれでもかと詰め込んでいるため、元の四作を見てからこれを見れば二度おいしいという優れた作品だ。それらの世界線の話

をある程度包括的に知っていると、クロスオーバーした瞬間なんともいえない面白さに包まれる。私もこれまで生きてきた中で一度だけ、このような場面に出くわしたことがある。昨シーズンの国体予選のときだ。

自分から見た二つ上の学年と一つ年下の学年を一緒に見るというのは高校までだと現実的に考えて不可能だ。まずこの二つの世界線がクロスオーバーした。国体予選は私の地元である鳴子で行われるため、ギャラリーから役員まで見知った顔ばかり並ぶ。ギャラリーというほど人はいないが、2シーズンいなかったただけで随分見え方は変わった。そして今回は東北大学スキー部という立場。まさか鳴子民と東北大学スキー部というどっち目線でも異世界と呼んで差し支えない世界線同士がクロスオーバーする日が来るとは。レースがあった二日間だったが、あれほど面白い二日間はなかっただろう。鳴子の人たちにはただいまと言いながら、部の人たちには私のルーツを紹介しながら、今の人との繋がりとこれまでの人との繋がりがリンクした二日間だった。またクロスオーバーする日を密かに楽しみにしている。今シーズンの活動は読めない。どれ程コロナが長引くのか、神のみぞ知るといふやつだろう。とりあえずいつ収まってもいいように鍛え続けておこう。講義はあるが、これほど自由に時間を使える機会はないだろう。これを機にもっとスキーについて煎じ詰めていこうと思う。



## 幸せが戻ってくる

中田 和真

こんにちは、なかずです。平仮名で大丈夫です。

皆さんはハッピーターンという米菓子をご存じでしょうか。まあご存じない方はいないでしょう。知っている人もいるとは思いますが、私が一番好きなお菓子です。あのサクサクな煎餅を包む甘じよっぱい通称ハッピーパウダー、一つ食べればもうやめられません。気がつけば空袋しか残っていない、そんなことが多々あります。浪人期には勉強のお供として活躍してくれました。最近では1日に2袋、午前午後のおやつタイムに食べるという奇行に走っています。今回はそんなハッピーターンについて紹介します。

### ・ハッピーターンの由来

このお菓子を日本語訳すると「幸せが戻ってくる」となりますが、これが発売された当時、日本は石油危機を経て不景気が続いていた時期だったため、お客様に幸せが戻ってくることを願ってこの名がつけられたそうです。感動しますね。

### ・ハッピーパウダー

煎餅の周りがある粉。煎餅の表面には「ハッピーポケット」という凹面がありしっかりとキャッチされている。病みつきになるおいしさ。ハマったらとまらない、とまらない。訳すと幸せの粉。

### ・ターン王子

言わずと知れたハッピーターンのキャラクター。本名はプリンス・ハッピー・ターン・パウダリッチ。まさかのパウダリッチ。ハッピー王国の王子。年齢は8才。ハッピーが足りないと言われている。「ハッピーポシェット」からハッピーパウダーを振りまいてくれる。趣味はブーメランとヨーヨー（どっちも戻ってくる玩具）、特技はまさかの社交ダンス。

調べてみると意外と知らなかったことがあって有意義な時間になりました。少しでもハッピーターンの魅力が伝わればハッピーです。最後に、誕プレにハッピーターン期待しています！

出典 ハッピーターンスペシャルサイト

<https://www.happyturn.com/>

「マイ ホビー イズ……」

堀 倫彰

最近、英語の授業の課題をやっていると、自分の英語の単語力の無さに絶望することが多いので、たまに大学受験で使っていた単語帳を寝る前に見ることがあります。寝る前に見るといいと思う点は、脳科学的に記憶に残りやすいということと、読んでいるうちにどんどん眠

くなるので、すぐに眠りにつけることです。僕と同様、単語力に悩んでいる方にはおすすりめです。

今年、せっかく新学期が始まったのに、新型コロナウイルスの影響で、家での自粛生活を余儀なくされました。そのため、例年なら色々な人に新しく出会うはずでしたが、一人暮らしの私は、買い物に行った時に、レジの店員とお金と商品の交換を行う際に、必要最低限の会話を交わす程度しか一日の中の対面での会話がありません。

しかし、このような自粛期間だからこそできたこともありました。それは、インターネットを通しての人との交流です。僕の場合は、ZoomやLINE通話で、地元に戻った時以外、あまり話すことがなかった高校時代の友達と話して、結構楽しかったです。また、オンラインゲームで協力プレイをしていて、気づいたら外が明るくなっていたなんてこともありますね。こんな感じで、今までの友達との交流を通して、一人暮らしの自粛生活でのコミュニケーション不足を解消しています。

話は変わって、ここからは、最近ハマっているものを紹介したいと思います。僕は、今年に入ってからBiSHというグループにはまり、口を開けばBiSHと言っていた時期もあり、特にノルディックの同学年には迷惑をかけたかもしれないです(すみません)。このグループの曲は、今まで自分あまり聞いたことがなかったジャンルのものが多く、初めて聞いたとき、とても新鮮でかっこいいと思い、それがきっかけではまりました。そんな私は、BiSHが所属するWACKと

いう事務所の別のグループEMPiREにもハマってしまいました。どちらのグループも曲が特に好きなのですが、ダンスも個性的なものが多く、見ていても楽しめます。どちらのグループも、YouTubeで曲が配信されていて是非聞いてみてください。

現在、僕には悩みがありまして、それは今紹介したグループを好きだという友達がいなくてということ。好きなアーティストができたから、ライブに行つて生でみたいと思うのは普通のことなのですが、この悩みとコロナウイルスのせいでまだ行けていません。なので、今後の目標は一緒に行ってくれる友達を見つけることです。できれば今年中に見つかるといいなあ。

三年生

## 徒然草

榮治 智之

お久しぶりです。榮治です。最近生活の中で、「うわっ、これめっちゃ便利じゃん。考えた人すげー」と感心することが多いので、最近出会った身近な発明品をご紹介します。

原付

これは通学と生活に欠かせないものとなっています。東北大の人で通学に原付を使う人は多いですね。私は去年の10月くらいからほとんど毎日乗りこなしています（コロナの自粛期間を除く）。仙台の山に自宅があって、それとはまた別の山に工学部のキャンパスがあるので通学時には登ったり下ったりで楽しい通学路だと思っています（個人差があります）。通学時間も短くなり、交通費も安く済んでおります。新車一台20万円ほどです。私は中古を買いましたが、半額で購入でき、不具合もありません。

ワイヤレスイヤホン

すごいです。ストレスフリー。線がないので通話したまま部屋を出て冷蔵庫から冷たい飲み物をとることもできます。趣味のゲームで使っ

ても音に遅れが全くなくて、最近のワイヤレスイヤホンは音質も良きです。安いものだと3千円ほどから買うことができます。（自分は8千円のものを購入。とても満足しています。）（ちなみに今日家電量販店に行ったら、□字型の首にかけるモバイルスピーカーを発見して試聴したら、臨場感が半端なくて感動してしまいました。）

漫画

高校は課題が多い高校だったために漫画を優雅に読む時間がなかったので、大学に入ってから漫画の面白さを知りました。少し前まではバトル、アクション、ファンタジー系の少年漫画しか読みませんでした（心は少年だった）、最近は恋愛漫画に挑戦しております。（心がピュアなので）まだ青年漫画はあまり読めません。少年漫画は過激なシーンがないので安心して読むことができます。最近読んだ漫画で印象に残っているのは「彼女、お借りします」という漫画です。主人公の男子大学生が軽い気持ちでレンタル彼女を利用するところから始まります。作画がとても良いです。（将来はまった漫画を1巻から最新話まで大人買いしてみたい、）

最後は食べ物を書こうと思ったのですが、地元の新潟にも仙台にもおいしいものは多くて上げたらキリがないので仕方なく割愛します、。ほかの部員の誰かが書いているかも？なので、その方にお任せして私の部員文は終わりにしたいと思います。執筆していて楽しかつ

たです、ありがとうございます。

## TRPGのすめ

岡田 拓歩

皆さんはTRPG(テーブルトークロールプレイングゲーム)と言われるゲームジャンルをご存じでしょうか?テーブルトークRPG<sup>1</sup>あるいはテーブルトーク・ロールプレイングゲーム(和製英語:Tabletalk role-playing game<sup>2</sup>、英:Tabletop role-playing game)とは、テーブルゲームのジャンルのひとつ。ゲーム機などのコンピュータを使わずに、紙や鉛筆、サイコロなどの道具を用いて、人間同士の会話とルールブックに記載されたルールに従って遊ぶ「対話型」のロールプレイングゲーム(RPG)を指す言葉である(Wikipediaより引用)。

今回はTRPGのなかでも一、二を争う人気があるクトゥルフ神話TRPG(以下CoC)を例として説明していききたいと思います。クトゥルフ神話とはアメリカのホラー小説家のH・P・ラブクラフトが中心となって作り上げた世界観の設定であり、簡単に言うと日常の裏にこんな怪物がいたりこんなことがあったら怖いよねという設定を友人間で共有して小説を書いた結果生まれたものです。クトゥルフという言葉は聞いたことがなくてもSAN値やネクロノミコンという言葉がゲームやネットで見たとのことのある人もいるのではないのでしょうか。

TRPGの最大の特徴はその自由度です。CoCはホラー小説が元ネタ

ですが、怪物におびえながら脱出するゲームにしてもいいですし、その怪物を逆に退治するゲームにしてもいいですし、その怪物と仲良くなるゲームにしても許され、そのすべてはゲームマスターにゆだねられます。また、プレイヤーにもかなりの自由度が許されます。例えばデジタルゲームでよくある、ドアに鍵がかかっているから入れない部屋や、岩があつて通れない道もドアを壊すことで入ったり、岩をよじ登って進んだりゲームマスターが許可さえすればプレイヤーの考えたことは何でも可能です。ほかにも基本的にすべての判定(探し物が見つけられるか、敵の攻撃をかわせるかなど)をダイスを振って決めるので、絶望的な場面から間髪一髪で生還したり、きめ台詞を言って大失敗するなど様々なドラマが生まれるのもTRPGの醍醐味の一つです。

このほかに言いたいことはたくさんありますが、それらすべてを書くともんでもない分量になるのでこの辺りで終わりにします。興味がある人はYouTubeやニコニコ動画にリプレイ動画がたくさんあるので見てみてください。そして遊びたくなった人は6000円くらいの基本ルールブックを買えばほぼ無限に遊べるので買って実際にやってみてください。

一人暮らしをして変わったこと。思いついた順

小林 幹太

寝る時間が定まらなくなった。

100均に行く回数が増えちゃくちや増えた。

スーパーに行く回数が増えちゃくちや増えた。

マツキヨに行く回数が増えちゃくちや増えた。

Yahoo ショッピングに行く回数が増えちゃくちや増えた。

テレビをあまり見なくなった。

床屋を選ぶようになった。

原付に乗るようになった。親に内緒で原付免許を取り、原付はジモテ

イーで買った。

動画配信サービス(アマプラとか)の月額料金を払うことに抵抗がほと

んどなくなった。

飲み屋街に入る抵抗が減った。

ミ.5の偉大さを実感させられた。

家計簿を始めるも、4か月後にはあきらめるといふサイクルを繰り返

すようになった。

実家の一人部屋を猫に取られた。実家で夜寝ようと思ったためちやく

ちや威嚇された。

旅費、交通費を調べるようになった。そして交通費チーフという肩書

も得た。

グーグルマップにお気に入り・行きたいラーメン店を保存するようにな

った。現在53件。

グーグルの偉大さを実感した。

服を干しっぱなしにするようになった。

ワイヤレスイヤホンを使うようになった。

延長コードの偉大さを実感した。

日本製だから安心という概念がなくなった。

カルディは意外と良心的な値段だとわかった。

授業に遅刻するという概念が生まれた。

クレジットカードでお金を使うようになった。

グーグルキープを使うようになった。

行きたい国が増えた。

健康をうたった食品が健康的ではないことに気付いた。

見たい映画が増えた。

急に一人になると寂しくなる時が増えた。

うちの親はネットに疎いと感じた。

年中5月でいいと思うようになった。

料理系チューバーを見るようになった。

買い食いに抵抗がなくなった。

新潟は蒸し暑すぎることに気付いた。

カーシェアとは何かが分かった。

炊飯器は煮込むのに最適だと感じた。

ビールはのどごしと言われる意味が分かった。

安倍晋三は何がしたいんだろうと思うようになった。

車の車種を覚えるようになった。

世の中は狭いと思いつつ、時に広いと思ってる自分がいることに気

付いた。

魚は美味いと改めて思うようになった。

音楽で食べていける人はすごいと思うようになった。

ごま油を使えば大体のものは美味しくなると実感した。

無味の炭酸を飲むようになった。

大学で何を学んでいるのかわからなくなった。

バイトは時給で選ばないほうがいいと気づいた。

親の仙人度合いを実感した。

## TIMES くビューザー

志関 弘平

タイムズカーレンタルの常連が独断と偏見で乗った車のレビューするよ。ミニバンは嫌いなのでカット、セダンも板積めないので割愛。まずはC1クラスから。基本的にデミオ、ノート、スイフトなどがあたる。デミオは加速性能、ハンドリング、共に及第点。このクラスでは比較的ましな車種。全体的に運転が面白くないクラスだがそのなかでは楽しい車。ノートは居住性が良い。四駆と二駆を切り替えられる。一方運転性能は凡庸。スイフト、このクラスの外れ車種。室内狭い。収納はもっと狭い。総じてカス。運転性能はノートより少し上(あくまでも少し...)。次はスキーなどで最もよく借りるC2クラス。まずはアクセラ。良車が多いこのクラスでも、アクセラはクラスを代表する安

定さ。ステアリングレスポンスがよい。トランクもわりと広く全長も長いのでC3板とかも乗せられる。ただスバル車と比べると雪道性能に不安が残る。お次はみんな大好きインプレッサ!こちらもアクセラに引けを取らない性能。アクセラがガツガツする運転であればこちらは力強くゆったりするイメージ。居住性もよい。雪道性能は神、いちばん安心して運転できる。アクア、トヨタのハイブリッド車。全長が短いので、スキーのときにこれが来るとC3板つめなくてカスになる。電気のみでの走りは静かで快感だが、高速道路では燃費はあまり向上しない。C3クラスはほぼ確実にプリウス、タイムズ史上最高燃費。とにかく安く距離を稼ぎたい場合はうってつけ。400km/day以上走るならC1よりも安くなる、東京まで往復してもガソリン代6000円台だった。林道、5人乗り、積載は?

続いてSUV,まずはO2から。CX3, CHR, BMW-X1など。CX-3ディーゼルはSUVだが基本はデミオと同じ。走行性能はアクセラ。加速性能と燃費がいい一方室内空間と乗り心地は残念極まりない。CHRはSUV最弱。だれやこれ納車したの。室内はスイフトなみ、まるで戦闘機。ハイブリッドでもなく普通のガソリンで、排気量はスイフト。燃費も悪い。ハイブリッドじゃないクラスがあったのか。BMW X1ディーゼル、SUV最強クラス。収納性能はCX5と同等か広い。ハンドルアシスト、窓ナビ表示と便利な機能が満載。燃費も非常に良く、これが当たると幸せになる。外車だが当たりやすい。より大きい車乗りたければ、CX5とかアテンザとか借りるといいと思

うよ(アテンザ神だった)。今回はこの辺でおしまい。

## 樺坂を語る

橋 紀 晶

ランナー三年バナこと橋紀晶です。今回のSPURはドルヲタである私が大好きなグループである樺坂を語り、これを読む皆さんに樺坂の良さをわかって頂き、あわよくば新規ヲタの獲得を目指したいと思えます。

### 1. 樺坂46とは？

秋元康氏のプロデュースするアイドルグループ、坂道シリーズの第二弾として、2015年に結成され、2016年「サイレントマジョリティー」でデビューを果たした。その後、「世界には愛しか無い」、「二人セゾン」、「不協和音」といったヒット曲を生み出し、その独自の世界観とアイドルグループとして屈指のダンスパフォーマンスで、一大人気グループとなった。しかし、デビューして間もなく人気が出て多忙になったせいも、HKTシングル「不協和音」以降、センターとして頑張ってきた平手友梨奈を中心に体調不良となるメンバーが現れた。そりて、人気上昇につれて、アンチや過激なファンも増え、握手会で発煙筒を焚かれるなどの事件も起きた。体調不良に加えそういったファンやアンチの攻撃もあり、2018年に今泉佑唯卒業を皮切りに次々と人気メンバーが卒業した。さらに不動のセンターとして頑張

ってきた平手友梨奈が突如グループ脱退を発表。これによりHKTシングルの発売も延期、さらにコロナの影響で活動も大きく制限されることとなった。このように順風満帆とはいかず、災難の多いグループであるが、今まさに生まれ変わるうとしていいといってもいい。というのも、2018年に二期生が、2020年には新二期生が新たなメンバーとして、樺坂46に加わった。二期生は積極性があり、バラエティでも率先して笑いをとりに行こうとする勢いのある子たちである。新二期生は加入してから日が浅いので、未知数な部分が多いが、私は個人的にとっても期待している。これまでセンターだった平手を中心に人気メンバーがいなくなり、代わりに新しいメンバーの加わった、この「新生樺坂」が果たしてどうなるのか、大いに気になる。まさに、今最も注目すべきアイドルグループかもしれない。

### 2. メンバー紹介

メンバー紹介であるが、全員分は当然ここでは紹介できない。なので、個人的に推しをピックアップし、そのメンバーを紹介しようと思う。他のメンバーが気になる方は名前だけ載せておくのでググってみてください。

菅井友香 一期生で最年長メンバーの一人にして樺坂のキャプテン。樺坂を語る上で外すことのできない重要なメンバー。面倒見がよく、他のメンバーのことを気にかけてあげるグループのお姉さんの存在。当然メンバーからの信頼も厚い。趣味で乗馬を嗜むお嬢様で、家の写真が番組内で出たりすると、毎回他のメンバーを驚愕させる。その影

響か、マナーもとてもいいと評判である。お金持ちのお嬢様で礼儀正しく面倒見もいと聞くと 完全無欠にみえるがそんな彼女にも弱点がいくつかある。まず、滑舌が非常に悪い。どのくらいひどいかというと、カ行がスムーズに言えない、チーズフォンデュがチーズフォンジュになる、キャブテンがチャプチェになるなど中々のものである。小林由依 一期生。初期の頃から推している、一番好きなメンバー。個人的に笑顔とすまし顔のギャップが好きです。毒舌をたまに吐くなど、ドライな印象を受ける。小林家は正月も控えめ、クリスマスは平日など、イベントごとに対して少し冷めている。初期にはメンバーに暴走族のバイクの音を録音して送るなどの奇行もしていた。ちなみに埼玉出身である。そんなエキセントリックな面が目立つ彼女だが、歌唱力が高く、さらに楽器の扱いにも長けていて、サックス、アコースティックギター、エレキギター、ピアノといった楽器を弾くことができる。あと、美脚であり、彼女の姉も太鼓判を押している。演技力も非常に高く、涙をすぐに流すことができる。ちなみにあだ名は「ゆいぼん」だが本人は「ぼん」が気に入っておらず、「ぼんぼん」といじられたりするとガンをつける。中学生の時とは違って、目が合うと睨むなどの行為をしていたそう。またライブでは「まだまだ声出せんだろ!」「そんなもんかよ!」「ヌルいんだよ!」といったドのな煽りをするでも有名。そんな面があった面からついたあだ名は「埼玉の狂犬」である。そんな面も含めてとても可愛らしいのが彼女の魅力である。ブログも独特の文章なので是非読んでみてほしい。

田村保乃 新二期生。おっとりしたところが可愛いメンバー。非常にマイペースで、のんびりしている。俗に言うポンコツさが目立つメンバーである。しかし、バレエをやっていたので運動神経は抜群。独特のキャラでバラエティでも大活躍。おとぼけ顔や煽り顔などの顔芸が得意。二期生で加入してから日が浅いので、あまり多くをかけないが、これからは楽しみなメンバーである。

大園玲 2020年に加入した新二期生。鹿児島出身。目鼻立ちがはつきりしていて、まさに美少女。ちなみに私はオーディション時の彼女のSHOWTOON 配信を見て、加入前から推していました。涙を早く流すのが得意と言っていたが、小林由依との涙早流し対決では、負けてしまいガチ泣きしてしまった。もしかそたら負けず嫌いなものかもしれない。

メンバー一覧 ググって見てね

一期生 石森虹花、上村莉菜、尾関梨香、小池美波、小林由依、斎藤冬優花、佐藤詩織、菅井友香、土生瑞穂、原田葵、守屋茜、渡辺梨加、渡邊理佐

二期生 井上莉菜 関由美子 武元唯衣、田村保乃、藤吉夏鈴、松田理奈、松平璃子、森田ひかる、山崎天

新二期生 遠藤光莉、大園玲、大沼晶保、幸坂茉里乃、増本綺良、守屋麗奈

3. 櫻坂の魅力

櫻坂の魅力は何と言ってもそのダンスパフォーマンスと独特の世界



観である。よく厨二病ともいわれる樺坂の歌は非常に独特で、大人や権力、多数派への反発を歌うものが多い。「サイレントマジョリティー」「不協和音」「エキセントリック」などがその代表例である。ライブパフォーマンスも抑圧からの解放をコンセプトにしたものが多く、私が2019年にいったアリーナツアーでは、おりからの脱出という物語で構成されていた。この独特の世界観は見るものを魅了する。とくに若い世代からの支持が多い。若い世代に限らず、どんな人でも曲やライブで展開される独特の世界観は惹きつけられるものがあると思うので、気になる方はぜひMVの視聴、CDの購入や、ライブ参戦を検討して欲しい。

以上語ってみました。本人が深夜テンションで非常に眠い中書いていたので要領を得ない文章になっていて大変わかりにくいと思うので、是非曲聴いたり、冠番組「樗ってかけない？」をご視聴していただけたらと思います。おやすみなさい。

## 第五人格

保達 洋

それは麻薬に類するものだ。一度は生まれば自分の力で抜け出すのは困難といえる。全世界、特にアジアにおいて数多くの中毒者が存在しており、その多くは10代から20代の若者である。そして、私もその一人である。中毒者の症状として、一定の時刻になるとそれ以外何

も考えられなくなることや、感情の起伏の激化、幻聴、眼精疲労、睡眠不足が挙げられる。これを法律で取り締まることは現状困難であり、この性質が第五人格が蔓延するのを助長している。使用した際には何者かが自分を追いかけ、それから必死に逃げる映像を見たり、自分が必死になって何かを追いかける映像を見たりする。この映像を通して人々は興奮し、あるいはひどく落ち込み、狂暴になったり鬱になったりする。この作用は人々に多大なストレスを及ぼすため、第五人格は大変危険なのである。

さて、先ほど麻薬に類するものと申し上げたが、これは薬ではない。これまでその特徴を述べてきたが、その実態はスマホゲームである。正式名称をIdentity Vと云う、iOS、android端末及びPCに対応している。中国のneteaseが運営しており、基本プレイは無料だ。キャラクターが個性的で多くのプレイヤーを魅了している。また、デザインのみならずゲーム性も非常によくできており、これが世界中で中毒者を出している理由だ。とても楽しい。

ゲームのルールは、簡単に言うと脱出型鬼ごっこである。一人のハンター（追う側）に対して四人のサバイバー（逃げる側）が一つのマップの中でゲームをする。サバイバーはマップ内にある八台の暗号機のうち五台を一定時間（一台につきおよそ八〇秒）かけて解読し、完了したらマップ内のゲートを開けて脱出を目指す。ハンターは脱出を阻止すべくサバイバーを追いかけ、捕まえる。捕まえたサバイバーは特殊な椅子に拘束し、一定時間たてばそのサバイバーを脱落させること

ができる。サバイバーが拘束されている間、別のサバイバーは救助することができ、拘束から解放させられる。サバイバーが三名以上脱落した場合はハンターの勝利、さばいばーが三名以上脱出した場合はサバイバー側の勝利である。二名ずつの場合は引き分けとなる。このゲームの面白いところはそれぞれの陣営に様々な能力を持ったキャラクターがおり、それぞれの能力を生かして勝利を目指すことができる点だ。好きなキャラクターを練習し、使いこなして相手に勝利する快感は計り知れない。

サバイバーをプレイする際、チームを組むことができる。友人とチームを組み、連携することでゲームを有利に導くことができる。これが非常に楽しい。また、一日に六時間、ランクマッチが開催される。ランクマッチに参加すると自身のランクが変動する。このランクは自分の習熟度を意味するようなものであり、多くの人はランクを上げようと必死である。ランクが上がると嬉しいが、その分負けた時はストレスだ。この点が中毒性を持っている。ゲームをより楽しむため、あるいは勝つため、また情報収集のためにSNSで友達を作る人も多い。そのため第五人格を取り巻くSNSの活動は盛んである。現在ではSNS上で知り合った男女が交際に発展するケースも珍しくない。遠距離は大変だろうけどちょっとうらやましい。

さて、皆様には第五人格の魅力が伝わったであろうか。私は毎日第五人格に吸う時間を割いている。だが、時間の無駄だとは思わない。だってたのしいから。一人じゃなくて、他の人とやってるから！たの

しい！！一生懸命になることがあるっていいことだよ！みんなもやってみよう！おっと、そろそろランクマの時間だ、行かなきゃ！！

## 四年生

### スキーのある暮らし

浅野 颯太

#### 第一章 雪怖い

自分が初めてスキー板を履いたのは四歳の時、斑尾高原スキー場で号泣しながらソフトクリームを握りしめていた。雪はまだ友達になれそうにはなかった。小学四年まではなんだかんだ苗場を中心にソフトクリームを食べる日々を過ごしていた。

#### 第二章 おこちゃまさキーヤー

中学入学を機に競技スキーと出会った。中学一年の時は右も左も分からずただただ先輩について行ってポールの間を通り抜けるだけだった。この年の都予選でアウトゲートをなんか変だなくと思いつつながら通ったことは今でも覚えている。当時は練習というより合宿で先輩たちと騒いでいることが楽しくてスキーを続けていた。今思えば親の金で大層な遊びをさせてもらっていた事によく気付いた今日この頃である。そんな自分のホームゲレンデは新潟県南魚沼市の石打丸山スキー場であった。滑走可能な面積が広く、ナイター設備も充実しているスキー場で、ゲレンデの中腹にある宿に安く泊まっていたため、毎晩のようにナイターに繰り出し、ハーフパイプに入ったりキッカーを飛んだりと好き勝手楽しくやっていた。まだ楽しさV練習でコントレ

などの習慣もついていなかった。

#### 第三章 ガチスキーヤー

本気で競技と向き合うのが遅すぎた。インターハイ出場を夢見てストックな練習を始めたのは高一の夏、親に頼んでいかせてもらったアメリカ遠征で自分より三、四歳若い小学生や中学生が断然自分より上手い、速い、そんな現実を見てからだだった。練習の質はもちろん生活の質を上げないと良いパフォーマンスに繋がらない事を三週間みっちり学んで帰国した。そこからの二シーズン周りに支えられ、ストックに楽しくスキーと向き合った。コーチの機嫌が悪く鬼セットを滑らされ完走できないと切られたり、最後のインハイ予選で目標まで全然届いていない自分に絶望したり、それでも引退試合では目標の順位に滑り込み、男くさい色紙を貰ったり充実した日々であった。

#### 第四章 コンバインダー

杜の都仙台でのスキーライフは入学前の想像とは少しというか大いに違っていた。基礎スキーを始めようとしていたのにジャンプとクロカン、毎週朝五時半片平集合。漢字だけで書くと呪文の様である。しかし結果を出すにはいい機会であった。この三年間試合で結果を出す事に重点を置いてやってきて満足のものの方が多いいのは、これまでの経験と知識のおかげだなと感じている。自然を相手に限られた時間、環境の中で自分を律しながら目標を達成するのは簡単なことではないが達成した時の喜びはそれ相応の幸福感をもたらしてくれる。そんなことを思う四年生の春、今年目標の一つがコロナで潰えそうで

はあるが、できるところまでやろつかない笑今は九大戦の懇親会が楽しみである。

## 第五章 バックカントリースキーヤー

スキーが生活からなくなることはまだ当分ないであろう・・・to be continued

## 仙台のあるある言いたい

池田 翔

今年で仙台での生活が4年目となりました。この三年間で感じた仙台のあるあるを紹介します。

1. 駅周辺に行くことを「街に出る」という。
2. いづいを説明するのいづい。
3. ゴミを投げるIIゴミを捨てる。
4. 集合場所はステグラね。
5. デイズスト前に集合ね。
6. 七夕は八月。
7. おはよう靴下。
8. 仙台全然雪降らねえ。
9. コンビニに薪が売られる時期がある。
10. 滅多に牛タンは食べない。
11. 懸垂型信号機がある。

12. 「だから」II「それな」

13. ずんだシェイクがなかなかうまい。

14. シャッコい!

まだまだあるかな...? 共感してくれたら嬉しいです。

## ストレス社会を生き抜くために

大沼 恭子

こんにちは。気づけば四年生になってしまい、シユプールを書くのも最後ということ、時の流れの早さを感じている大沼恭子です。今更知っている人もいると思いますが、私は医学部保健学科看護学専攻で学んでいます。一応入学してから三年ちよっと勉強して実習にもいつてきた経験から、メンタルヘルスの重要性を感じたので、それについて書きます。浅い知識ではありますが、現代のストレス社会を生き抜くための対処法を医学・看護学的所見からいくつか紹介しようと思います。

- 認知行動療法：現実の受け取り方やモノの見方を変える。自分の考えを別の視点から変えてみる。
- 作業療法：単純作業や家事・園芸などをやる
- 運動療法：適度に体を動かすことはリラククス効果に繋がる。
- 芸術・音楽療法：好きな芸術・音楽を楽しむ
- ペット療法：好きな動物の世話をしたり、じっと観察する。犬猫

魚など世話がしやすいペットかホースセラピーがおすすぬ。

● 睡眠：考えすぎずに寝る。十分な睡眠をとる。睡眠不足は日中の集中力を低下させ、不安や焦りを掻き立てやすい

● 食事：バランスの取れたなじみのある好きな食べ物を食べる

● 環境を整える：清潔で、静かで、穏やかな照明で、アロマなどのリラククスする好きな香りの環境に身を置く

● 趣味に没頭する：スポーツ、読書、音楽、旅行、買い物、映画鑑賞など、自分が好きなことの時間を取る

● 声を出す：歌を歌ったり、大声で自分の気持ちを開放する

● SNS から離れる：人間は社会の中で他人と共存する生き物だから、時には離れる。SNSには時間を費やすほどの価値ある重要なことはさほど書かれていない

● 体をほぐす：マッサージやストレッチをして、体を弛緩させる

● 家族・友人との時間を確保する：自分のことを理解してくれる味方と談笑して、楽しい時間を過ごす

● とりあえず笑う：楽観的視点をもって、解決しなくても笑ってみる。笑顔は自然と気持ちを軽くする

ざっとエビデンスに基づいているのはこんな感じです。意外と簡単なことなので、できることを日常生活に取り入れてみてください。ここまで読んでくれたあなたに少しでも役立つと嬉しいです。このストレス社会とうまく付き合って、良質なメンタルヘルスを保ちましょう。国家試験、頑張ります。

## 他愛もない話

島田 菜理紗

私が東北大学にそもそもその興味を持ったのは、伊坂幸太郎さんの本を読んだことがきっかけだった。彼の本を通して仙台に興味を持った私は、じゃあその周辺の大学は、とここに行きついたのである。東北大学に進学したのが吉と出たか凶と出たかはさておき、彼の作品に出会ったことにより、私の人生は大きく動かされた、と言える。本を読む場所は決まって電車で、よく人ごみの中、分け目もふらず本に没頭していた。

しかし、悲しいかな、大学に入ってから電車という交通手段は影を潜め、私は自転車という手軽でしかも交通費がかからないという最強の武器に甘んじてしまったのである。そのため、電車での読書の時間は必然的に消滅し、本を読まなくなった。これじゃあだめだ、と別の場所でトライしても骨折り損のくたびれ儲け。あんなにワクワクして読んでいた本は、家で読もうとするとちっとも魅力的に感じない。そして、伊坂幸太郎というワードも私の頭から次第に消えていってしまった。

しかし、四年になり就活が始まり、自分の人生を振り返るという機会が多くなった。そして、私の原点は何かと考えた時に、そうだ、伊坂さんだと思い出し、彼の本を久しぶりに読んでみようと思った。自宅近くの昔ながらの本屋さんに立ち寄る。

読了後、ああ、そうだそうだと私は感激した。伊坂さんの変わらない

洒脱な文章、巧妙な伏線、清々しい物語の幕引きにはもちろん。それだけでなく、そういった言葉一つ一つに心を動かしていた私の純粋な感情はまだ残っていたのである。

彼の本を読んで考えたことがある。それは正義と悪は本当に紙一重で、どちらに転ぶこともできることだ。彼の作品では、殺し屋や空き巣など、いわゆる悪を主人公にしている内容が少なくないが、彼らは正義と悪という分かりやすい境界線を引き、犯罪をしているわけでもない。悪役の彼らが、たまに正義のヒーローに見えてくることもある。そう考えると、正義と悪は相対的で脆いものなんだと気づく。色々な正義を振りかざして相手を貶めようとする人がいるが、それは悪という分かりやすい敵を作り、自分の鎧を強固にして自分自身が崩れないようにしているのでは、と思ってしまう。

話が半分それだが、閑話休題、伊坂さんの言葉一つ一つに感動していた自分を忘れずに、東北大学に入ってよかったと心から思えるよう、残りの月日を過ごしていきたい。そして願わくは、良い就職先を。

### 飽き性の話

白木 悠大

飽き性の話を書こうと思います。でも、決して最後に「でも、○○だけは飽きずに続けられました。これは、××のおかげです。」みたいな美談にはならないと思います。

自分は飽き性です。それはもう、大変な飽き性で、これはもう生まれ持ったものには間違いないです。小学校低学年では、金びかの泥団子を作る本を借りて満足し、ポケモンルビーでは、博士からポケモンを受け取る前にやめ(その後エメラルドはちゃんとやった)、日本史に興味を持ってたかと思えば宇宙に興味を持ち、そうかと思えば化学を専攻しています。何にでも興味を持てていいね！というよりは、何やっても続かないね！の方が正確かもしれないほど。最近では、それがどんどん加速しているような気がします。最近では、スマホゲームのチュートリアルで飽きてしまい、インストールして数時間後にはアンインストールしています。映画は、よほど興味がない限り何かしながらのながら見。こういう事ばかりです。

でも、よく考えてみれば、これは多くの現代人が直面する大問題だと思います。インターネットが普及し、動画サイトやSNSの広まりは、刹那的な楽しみばかりが目立つようになりました。短時間で楽しんでみたい。継続することで得られる楽しみは敬遠されがちな風潮を感じます。そんなことないか。そんなことないわ。

とにかく、自分は年を経るごとに飽きやすくなっているという気がします。感受性、いろいろなものに対する興味は常識を身に着けるにつれて薄れていくものだとしたら、飽き性はどんどん加速するどころか、興味すらなくなってしまうのではないかと思ってしまう。それで、気が付いたら、「昔はよかったのに！」という懐古趣味の人間になってしまうのです。それは避けなければいけません。とりあえず今

興味持てることは飽きてもいいからやってみようかなと、思ったりしています。

はじめに変な事を言ってしまったせいで、締め方に困るようになってしまいました。それなら、はじめの分なくせば良いと思われると思いますが、どうしても褒められる文章を書きたくないという意地だけで残しておきます。まあ、何とか、飽きやすくても何かに取り組んだだけ何もしないよりはマシだと思いますね。そんなことないか。

### やりたいこと

旅行 本当はねぶたとか行きたかったのですが、はやく就活終わ

らないですかね

ローラー ローラーがやりたすぎてしんどいです。

陸上日本選手権 コロナのせいで延期になってしまったのですが、む

しろありがたい。新潟でやるのでこれは絶対見に行きます。

トレーニング トレーニングって徐々に負荷を上げていくもんで

たまに気持ちよく練習して、ほんのたまにつらい思いして、結局ずつと同じ負荷で練習しているのは、ただの運動です。筋トレはわかりやすいけど、ほかの練習でも気を付けないとねって思いました。自分は今軽い運動にとどまっています。やっぱり部活始まんないとトレーニングを続けるのは正直きついです。早く部活再開許可くれ

### 右手か左手か

くだらない。実にくだらない。

「うんこ味のカレーか、カレー味のうんこ、食べるならどっち？」などと、低俗な学生連中は究極と題し、芋煮をしながら、選択を迫りあうのである。なかには異性と近づかんと鼻息を鳴らしながらする始末である。おおむね、彼らは会話のABCを知らず、ハウトゥー本に頼り、これ以外の会話ができないのである。実にくだらない。仮に芋煮の場で選択を迫るのであれば、それは

「山形風か、仙台風(トン汁)、どっち？」である。

百歩譲って彼らの低俗で下劣な選択に返答するのであれば、高尚で崇高な精神と明晰な頭脳を併せもつ私ならばこう答える。

「うんこ味のカレー」

だって、うんこは食べたくない。

酒の宴席でもまた議論に値しない選択が存在する。

手塚 尚吾

「乾杯はビール？それともレモンサワー？」

こんなもののビールの一択である。ビールというのはとにかく旨いが、特に乾いた喉を通るのが最もおいしい。成人したての学生共にはわからまいが、その瞬間をレモンサワー？否。否。断じてあり得ない。信じられない。おおむね、乾杯にレモンサワー・カシオレを頼む阿呆成人学生は意中の異性と同じものを頼み、満足しチカパシするような助平学生なのである。

だが、しかしそんな私を大いに悩ませる難題が存在する。私のこの高邁な文章の読者も悩ませることであろう。

「右手か、左手か」

私はほぼ毎日のこの難題を突き付けられ、その都度萎凋してしまう。私は右利きである。それだけにあらず、この右手を使い背番号を縫い付け、チェンジアップすら投げるほど右手のポテンシャルは高い。ただし、難点が一つある。それは右手が血気盛んで若いことである。つい力が入ってしまうのだ。一方の左手は温厚な性格である。つい右手で潰してしまう蒸しパンでさえも左手はその性格で優しく持つことが出来る。さらに左手は暖かい。包むが極楽である。勿論左手にも難点はある。それは利き手じゃない分、ぎこちないことだ。効率は劣る。これらを踏まえ日々考えるが、今日もその解は得られていない。現状その日の気分次第だが未来のために早期に決着をつけたい。一体、どちらで爪を切るべきか。

我々は常に他者との相対世界で生きている。絶対などないのだ。乾

杯もレモンサワーで良い。難しく考えることはない。思うがままにである。そして、最後まで読んだ方はしてやられたであろう。それは私の先刻ご承知のところである。

#### 四年 他己紹介

藤野 寛司

他己紹介といえどスキー部一年生がブログ上で行う恒例行事です。当然ながら主役は一年生ということになり、一年生の存在感が増す中で役職を明け渡した四年生は存在感が薄くなってくるのが常です。そのような状況を打破すべく、最近の四年生について書いて、存在を主張しておこうと思います。ここには四年生の近況をわかる範囲で記述しておくので、一年生は文中に出てくるキーワードを基にして四年生と仲良くなるきっかけになればいいと思います。

浅野颯太：昼夜逆転マン。例の感染症のせいで生活リズムが乱れた結果、日の下では生きられない体になった。生活リズムの乱れという大きな代償を払ったが、有り余る時間を有効活用し、汚部屋の浄化に成功。彼の部屋は過去最高に綺麗だ。以前から問題だった「時間を守れない」という点については継続中。遅刻するなら連絡しような。

石原拓実：寂しがり。SNSでスキー部員同士が絡んでると、そのや



り取りに「いいね」を押して絡んでくる。こっちが反応してあげると、うれしさのあまり、携帯を見ながらニヤニヤしているのは容易に想像できる。

大沼恭子：看護師国家試験受験生。自分のやりたいことと看護師国家試験の勉強の両立が課題だと思われる。頑張ってください。

白木悠大：衰えすぎおばあちゃん。例の感染症のせいで家に引きこもった結果、体力が低下。オンライン上で筋トレを敢行したところ。一つ目のメニューで息が乱れた。常時「おばあちゃん」と言われていたが、より一層拍車がかかった。

島田菜理紗：年中元氣。しらんけど。

高野祥徳：単位の取得状況が渋め。あと何単位残っているのか聞いても教えてくれない。とにかく「いっぱい」残っているらしい。就活の状況も教えてくれない。クロカンしている時の集中力があれば、単位も就活の余裕のほずなんだが……。なお、アルバイトを辞めて新しいバイト先を探している。

手塚尚吾：塩パン職人。料理に目覚めた一人。その結果としてパン作りに取り組み、成果を上げている。「パンはパンでも素材の味を活かし

た塩パンが至高。」などと意味不明な供述をしており、今後も犯行の動機を詳しく調査する予定。最近運転免許の更新を迎えた。以前から免許の写真が面白いのは周知の事実だが、今回も面白い。

平澤拓海：悩める子羊。本当にやりたいことが何なのかを模索しながら生活しているように見える。でもまあ、気づいたらスキー以外の課外活動もすごいことになっていてマジで脱帽。近い将来SNSでインフルエンサーになってそう。

細井拓真：世界遺産検定一級。ついに世界遺産に関する知識の頂にたどり着いた。さらには大学院を一年で卒業できるプログラムの選考を突破。マジですごい。感染症収まったら、院進祝勝会不可避。名実ともにスキー部の頭脳に。院を一年で卒業できるプログラムは選ばれるだけで本当にすごい。

以上であります。

## 「一番」論

細井 拓真

「一番じゃなきゃダメなんですか」

皆さんはこの言葉を一度は耳にしたことがあるでしょう。現代の資本

主義社会においては競争に勝ち一番になることで認められ、富と名誉を得ることができません。そこで、この最初の一文とは趣旨が違いますが、自分が一番になることについて最近考えたことを簡単に書いていきたいと思います。

そもそも、「一番」と一般に表現される人物は、オリンピックの金メダルリストやノーベル賞受賞者、内閣総理大臣のように何かで一番の結果を残したり、何かで一番の立場にたっている人です。もちろん、学校のテストで100点をとった時や、マラソン大会で優勝した時のように範囲を限定すれば、無数に「一番」を表現できますが、ここでは社会的に認められた「一番」について考えます。ところが、社会的に認められた「一番」でも特殊な場合があります。例えば、一流の数学者が物理の研究をすれば、現在の一流の物理学者よりも大きな成果を残すかもしれません。また、駅伝ではあまり成績が振るわなかった選手がマラソンだと「一番」になることもあるでしょう。このように、現在社会的に認められている「一番」は本当に「一番」といえるかは曖昧で、逆に今現在、ある項目で「一番」ではない人が別の項目で本当は「一番」の可能性もあります。つまり、社会的に認められている「一番」とは私たちが学校のテストの結果で使っている「一番」と規模や範囲こそ違えどそこまで異なるものではないのです。

しかし、皆さんお気づきの通り、前者と後者は明らかに価値が異なります。なぜなら、学校でのテストはすぐにでも何人もの人が同じ問題を解くことで「一番」の座を奪うことができるのに対し、社会的に

認められている「一番」をすぐに超えることはほとんど不可能だからです。このように考えると、社会的に認められている「一番」は、社会状況や価値観に左右されているとはいえ、かなり価値があると言えます。では才能のない一般人は「一番」になることをあきらめた方がいいのでしょうか。

ここで社会的に認められている「一番」についても一度考えてみます。ある東大医学部の卒業生は、医者としても教師としても学者としても「一番」になれる実力があつたとしても、実際になれる、社会的に認められた「一番」はおそらく生涯を通じて一つや二つに過ぎないでしょう。オリンピックで異なる競技で金メダルを取れる人もごく稀です。二つのノーベル賞を受賞した人もほとんどいないでしょう。これは、異なる「一番」をとうとうとすると、莫大な時間と労力がかかるためです。（これは経済学の比較優位に通ずるでしょう。）そのため、どんな天才でも「一番」を選択する必要があり、その分、他の「一番」に空きができます。このように、現状社会的に認められている「一番」には価値は保持しつつも様々な種類があります。

私はこうした特性を持つ、現代の社会的に認められる「一番」は比較優位の考え方で同じ項目内でも認めるべきだと考えます。どういふことかという点、大病院で勤務して、最も多くの手術を行うエリート  
の医者も、高度な技術は無いが献身的な仕事ぶりで、発展途上国で最も多くの貧困層を救っている医者も同様に「一番」と考えるべきだということ  
です。おそらく医者として「一番」なのはエリートの方です

が、時間と労力の制約上、その人物は発展途上国で多くの人を救うことはできないでしょう。つまり、この発展途上国の医師は、誰にも真似できないという意味で「一番」になっているのです。ここでいう発展途上国で働く医師の「一番」を『一番』と表記します。この『一番』は「一番」より価値は劣るかもしれませんが、非常に大切なものです。私は、この『一番』の人々も社会的に認められることが様々な問題を解決する上で大切だと考えます。

自分を含め、ほとんどの人は「一番」になることは難しいでしょう。しかし、現在の「一番」の人にはできないことをやって、『一番』になることはできるかもしれません。

自分はこの『一番』になることを目標として頑張っていくつもりです。

最後に、他の四年生と内容が被るかもしれませんが、同期に対してコメントしていきたいと思います。完全に独断と偏見ですが、あまり直接言う機会はないので書きたいと思います。(基本的には褒めています。異論は受け付けません)

浅野颯太・・・戦国武将に例える？ 浅井長政

一言・・・色々な面において憧れだった。(真似しようとは思わないけど)

スキー、サッカー観戦、料理、バンドなど自分の好きなことに全力で、楽しんで取り組んでいて、正直めっちゃうらやましかった。

自分も負けないくらい楽しみます。

池田翔・・・歴史上人物に例える？ 池田恒興

一言・・・圧倒的行動力と積極性

包容力があって自分にはないものをたくさん持っていると思う。

石原拓実・・・戦国武将に例える？ 藤堂高虎

一言・・・真面目さと面白さを兼ね備えた、トップに立てる人だと思う。

バイト一緒なのに意外と会えない。一流の建築士になってほしい

大沼恭子・・・戦国時代の女性に例える？ 淀殿

一言・・・コミュ力もありつつ自分をしっかり持っている話す能力は相当すごいと思う。持ち前の包容力で多くの人を包み込んでほしい。

島田採理紗・・・戦国時代の女性に例える？ 細川ガラシャ

一言・・・輝く笑顔と秘めたる闘志を併せ持つ。怪我から復活したときの話は感動した。自分もそれくらいの

鋼の意思で頑張りたい。就職後の活躍も期待大。自分も急な暴露話ができるくらいいろいろ経験したいな

白木悠大・・・戦国武将に例える？ 丹羽長秀

一言・・・あふれ出る優しきで癒しをもたらし、内なる強さで未来を拓く

白木には何度も助けられた。主将お疲れ様。また白木の歌声聞きたいな。

研究頑張ろうぜ。

高野祥徳・・・戦国武将に例えるかと？ 本多忠勝

一言・・・風呂入ってるときめっちゃかっこいい

特にいうことはないです。(以心伝心なので)

手塚尚吾・・・戦国武将に例えるかと？ 島津義弘

一言・・・リーダーシップ論の説明の具体例で使われそう

ピッチャーで言うのと剛速球とスライダーとフォークを使い

こなしているイメージ

(チェンジアップは投げなさそう) 色々いじつてくれて結構

感謝してる。

平澤拓海・・・戦国武将に例えるかと？ 上杉謙信

一言・・・文武両道を体現する男

実力の割におごらないところがすごい。

藤野寛司・・・戦国武将に例えるかと？ 荒木村重

一言・・・圧倒的技術を生かして経済に貢献してほしい

アルペンスキーへの情熱はいつも感じてる。普段の毒舌とき

れい好きとか猫好きとかのギャップが素晴らしいね。ギャップ欲しい

な。高野含め、同じ経済学部でよかった。

(完)

## 令和元年度学友会スキー部決算報告書

### 支出の部

項目	細目	金額
登録費	県連登録費、理事費	71,400
	SAJ会員登録費	103,970
	SAJ学校登録費	154,240
	FIS登録	20,900
エントリー費	サマノル	37,500
	音威子府学チャン	54,000
	国体予選	24,750
	インカレ	224,000
九大戦	協力金	80,000
道具・施設代	ローラー	25,200
	用品寄付	13,500
	ピンディング	38,100
	ワックス	1,700
	アルペンビデオ	708
	ジャンプ台使用料	14,340
保険	団体スキー保険	109,800
インターネット関連	シュプール	166,390
	ホームページ	3,500
	名簿	4,900
交通費・輸送費	九大会議	18,000
	東京萩雪会	42,700
	板輸送	43,950
	布団運搬	2,000
学祭	登録費	15,000
その他	部室掃除	11,700
	挨拶回り	9,700
	部室ごみ処理	24,200
	ガムテープ	805
	ごみ袋	3,000
	封筒	3,841
	手数料	2,622

### 収入の部

項目	金額
部費	952,500
体育部補助金	277,000
前年度繰越金	933,154
シュプール広告費	40,000
OB寄付金	1,922,916

合計支出	1,326,416
合計収入	4,125,570

## 令和元年度寄付金報告

昭和 29 年卒	高橋公正	昭和 58 年卒	竹部幸雄
昭和 29 年卒	伊藤孝夫	昭和 58 年卒	石田伸彦
昭和 34 年卒	木名瀬武男	昭和 58 年卒	高田邦宏
昭和 37 年卒	栗原義郎	昭和 59 年卒	山口浩人
昭和 38 年卒	中村彰太郎	昭和 59 年卒	高木英雄
昭和 39 年卒	工藤博司	昭和 60 年卒	島本泰輔
昭和 39 年卒	加藤孝	昭和 61 年卒	喜多見哲
昭和 40 年卒	鬼木美枝子	昭和 63 年卒	村主正範
昭和 41 年卒	大熊清二	平成元年卒	小笠原和徳
昭和 42 年卒	佐藤佑	平成 2 年卒	風間聡
昭和 42 年卒	河合久嗣	平成 4 年卒	松村武
昭和 42 年卒	高津宣夫	平成 4 年卒	亀田祐一
昭和 43 年卒	照井順二	平成 5 年卒	青木俊明
昭和 43 年卒	原田有造	平成 6 年卒	曳沼賢
昭和 43 年卒	中澤徳郎	平成 6 年卒	君島均
昭和 44 年卒	壺富士雄	平成 6 年卒	川原靖雄
昭和 44 年卒	五十嵐博之	平成 8 年卒	森工
昭和 45 年卒	高橋喜三雄	平成 11 年卒	小野木伯薫
昭和 45 年卒	植杉健一	平成 12 年卒	小林大輔
昭和 45 年卒	矢口弘志	平成 17 年卒	藤田健
昭和 48 年卒	長谷川明	平成 19 年卒	杉下祐樹
昭和 50 年卒	長谷川隆	平成 25 年卒	小林東史
昭和 50 年卒	藤井隆宏	平成 26 年卒	高橋愛子
昭和 51 年卒	塚越隆二	平成 28 年卒	丹羽祥太
昭和 52 年卒	宇賀神義宜	平成 28 年卒	田光功弥
昭和 53 年卒	宮崎豊	平成 28 年卒	高道範武
昭和 53 年卒	堀松政司	平成 29 年卒	坂内野乃
昭和 53 年卒	上條敦	平成 29 年卒	大嶽晶子
昭和 56 年卒	平間義男	平成 29 年卒	小池祥央
昭和 56 年卒	山西勇	平成 30 年卒	竹重龍一
昭和 57 年卒	中川万規人	平成 31 年卒	稲村麟
昭和 57 年卒	上野秀人	平成 31 年卒	小柴黎斗
昭和 57 年卒	八重樫誠司		(敬称略)

令和元年度に御寄付いただいた方のお名前を掲載しております。多額の寄付金をお寄せいただきありがとうございました。

令和2年度分寄付金につきましては、来年度のSPUR第65号に掲載いたします。今後とも多方面からのご支援をどうかよろしく願いいたします。

お問い合わせ等がございましたら、以下の方法によりご連絡をいただければ幸いです。

- ・〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内四一 学生支援課 課外活動係 気付
- ・スキー部ウェブサイト(<http://ski-tohoku.main.jp>)のメールフォーム (下 QR)



## 東北大学スキー部部則

第一条 本部は東北大学学友会スキー部と称する。

第二条 本部は東北大学学友会運動部の一環として母校の名譽のために活動すると共に、各自技術の向上に努め、部員会員相互の交誼を温め、その親睦を密にすることを以てその目的とする。

第三条 本部は前条の目的を達成するために次のことを行う。

- 一、対外試合の参加
- 一、部報および名簿の作成
- 一、各種部活動の実施
- 一、その他

第四条 本部はその本部を東北大学片平丁校内に置き、その他の支部を統合する。

第五条 本部は部員、会員および特別会員をもって構成し、その資格は次の者とする。

- 一、部員は東北大学在学中の学生
- 一、会員は東北大学卒業生で在学中本部に在籍した者
- 一、特別会員は、部長、副部长、顧問、コーチおよび特に部会で認められた者

第六条 本部部員は次の義務を負うものとする。

- 一、入部の際、定額の入部費を負うものとする
- 一、部費として年間一定額納入すること
- 一、定められた部会、トレーニング合宿およびその他の部活動に参加すること。欠席する際にはその事由を届けねばならない。

第七条 本部部員の進退は部会でこれを決定することができる。

第八条 部会は部員をもって構成し、主将が必要と認めた場合これを召集する。

第九条 本部会員、特別会員については別にこれを定める。

第十条 本部会員は次の者をもって構成する。

部長一名、副部长一名、顧問若干名、監督若干名、コーチ若干名、主将一名、副主将一名、主務一名、副主務若干名。

第十一条 主将、副将、主務、副務は、前年度の役員の推薦により選出し、部会の承認を要する。その任期は一年（四月より翌三月）とし、再任を妨げない。

第二条 本部の経費は学友会費・部費・入部費・会員費・寄付金・その他の収入より充当し、会計年度は四月一日より翌年三月三十一日までとする。

第三条 主務は部員に対し年一回以上の会計報告をせねばならない。

第四条 本部部則の改正は部総会で総部員の三分の二以上の賛成をもって議決することができる。

第一五条 本部部則は昭和三十五年七月一日をもってその効力を発する。

### 東北大学秋雪ヒュッテ使用規定

(昭和四十年七月一日制定)

(趣旨)

第一条 東北大学秋雪ヒュッテ（以下「秋雪ヒュッテ」という）の使用については、この規定の定めるところによる。

(使用目的)

第二条 秋雪ヒュッテは、東北大学（以下「本学」という）学生および教職員の体育活動・研修等に使用するものとする。

(使用の願ひ出)

第三条 秋雪ヒュッテを利用しようとする者は、所定の願書を使用前七日前までに学部長に提出し、その許可を受けなければならない。

(使用期間)

第四条 秋雪ヒュッテの使用期間は七日以内とする。ただし、特別の理由があると認められたときはこの限りではない。

(使用日時等の変更および使用の取り消し)

第五条 本学において公務上の必要が生じた場合は、使用許可を取り消し、または使用日時等を変更させることがある。

2. 使用の許可を受けた者（以下「使用者」という）に規定違反の行為があると認められた場合は、使用許可を取り消すことがある。

(使用権利譲渡の禁止)

第六条 使用者は使用の権利を第三者に譲渡してはならない。

(損害賠償)

第七条 使用者が故意又は過失により、建物・設備・備品等を損失又は滅失したとき



は、それによって生じた損害を賠償しなければならない。

(使用者心得)

第八条 使用者は別に定める使用者の心得を守らなければならない。

(補足)

第九条 この規定に定めるもののほか、萩雪ヒュッテの使用に関し必要な事項は学生部長が定める。

附則

この規定は昭和四十年七月一日から施行する。

東北大学萩雪ヒュッテを学友会スキー部が使用するときの方法について

(昭和四十二年十月二十日)

東北大学萩雪ヒュッテを学友会体育部スキー部が使用するとき、左記の方法によるものとする。

記

一、東北大学萩雪ヒュッテ(以下「萩雪ヒュッテ」という)を、学友会スキー部(以下「スキー部」という)が使用するときは「東北大学萩雪ヒュッテ使用規定」(昭和四十年七月一日制定)によるほか、次の方法によるものとする。

二、スキー部は萩雪ヒュッテの一部(二階部分)を通常専有するこ  
とができるものとする。

三、スキー部が強行訓練の合宿のため萩雪ヒュッテを使用するとき  
は、スキー部以外は使用させないものとする。

四、萩雪ヒュッテのスキー部専用室を使用できる者は、スキー部部  
長、副部長、監督、部員とする。ただし東北大学(以下「本学」  
という)関係者が管理上必要な場合は使用できるものとする。

五、萩雪ヒュッテをスキー部以外の者が使用するときは、一階部分  
を使用するものとする。ただし、一階の各室が一時的に収容能  
力を超えたときは、スキー部活動に支障ない限りスキー部専用

室を使用できるものとする。

六、スキー部は、萩雪ヒュッテの運営について随時本学に協力する  
ものとする。

七、スキー部が強行訓練等により萩雪ヒュッテを使用するときは、  
学生部に届け出るものとする。

## 令和2年度合宿予定

### アルペン

12月	蔵王合宿
12月末～年明け	九大戦
1月	週末合宿
2月上旬から中旬	蔵王合宿
2月下旬	インカレ
3月上旬	全国公
3月中旬～	蔵王合宿

### ランナー

12月初旬～中旬	北海道合宿, 全日本学生チャンピオンスキー選手権大会
12月28日～1月3日	九大戦
1月	国体予選
2月上旬	白馬合宿
2月23日～28日	インカレ
3月1日～5日	全日本国公立大学スキー選手権大会

### コンバインド

12月	冬合宿①（北海道, 蔵王） 九大戦
2月	冬合宿②（絆, 蔵王） インカレ

※以上の予定は、新型コロナウイルスによる影響が収まり、大会・合宿等が問題なく行えるとした場合の予定です。

## 寄付金の受け付け方法変更のご案内

平素スキー部の活動に格別のご配慮をいただき、心よりお礼申し上げます。今年度は、いただいた寄付金で萩雪ヒュッテの布団を新調させていただきました。

さて、これまで、寄付金の受付は銀行口座へのお振込みのみとなっておりますため、改善を求めご意見をいただいております。そこで、今後は「PayPal」の導入を予定しております。PayPalとはインターネット上の決済システムで、アカウントを作成していただければ、スマートフォン・パソコンから簡単に寄付を行っていただけます。詳しくはPayPalのホームページでご確認ください（下記左QRコード参照）。また送金の際には、下記右のQRコードより、東北大学学友会スキー部のアカウントにご送金いただけます。なお、これまで通り、銀行口座へのお振込も引き続きご利用いただけます。

OB・OGの皆様の御支援を重ねてお願いいたします。

東北大学学友会スキー部 部員一同

### ・PayPal を用いた寄付金送付

#### <PayPal アカウントをお持ちの方>

スキー部 PayPal アカウントに送金（下記右 QR コード）

#### <PayPal アカウントをお持ちでない方>

PayPal サイトでアカウント作成（下記左 QR コード参照）

→スキー部 PayPal アカウントより送金（下記右 QR コード）



PayPal ホームページ  
(PayPal アカウント作成用)



東北大学学友会スキー部 PayPal 寄付フォーム  
(スキー部への寄付金受け付けフォーム)

### ・銀行口座を用いた寄付金送付

これまで通り、ご利用になれます。

ゆうちょ銀行：02200-4-19520

みずほ銀行 仙台支店：723-1077949

口座名義はどちらも「東北大学学友会スキー部」です。

#### <お問合せ先>

学友会スキー部 会計 橘紀晶 電子メール：ski.racing.tohoku@gmail.com

## 東北大学学友会スキー部現役名簿

	氏名	学部	出身校
部長	風間 聡	東北大学大学院 工学研究科土木工学専攻	
副部長	青木 俊明	東北大学 国際文化研究科	
監督	小柴 黎斗	工学部 電気情報物理工	

6年生	石井顕徳	医学部 医学科	鹿児島ラサール
-----	------	------------	---------

4年生	浅野 颯太	工学部 電気情報物理工	城北
	池田 翔	工学部 機械知能航空工	名古屋大学教育 学部附属
	大沼 恭子	医学部 保健学科	本庄東
	島田 菜理紗	文学部	東大附属
	白木 悠大	理学部 化学系	桐朋
	高野 祥徳	経済学部	北海道札幌西
	手塚 尚吾	工学部 機械知能航空工	神奈川県立光陵

	藤野 寛司	経済学部	京都府立南陽
	細井 拓真	経済学部	高崎

3年生	榮治 智之	工学部 機械知能航空工	新潟南
	岡田 拓歩	農学部	津山
	小林 幹太	理学部 化学科	新潟
	志関 弘平	理学部 地球科学系	日立一
	橘 紀昌	理学部 生物系	巢鴨
	保達 洋	法学部	新潟第一

2年生	鈴木 昂	経済学部	麻布
	大坪 奏祐	工学部 材料科学総合	鹿児島 玉龍
	中田 和真	経済学部	富山
	高橋 諒	医学部 保健	古川

	堀 倫彰	理学部 地球科学系	世田谷学園

1年生	石橋 賢	農学部	仙台第二
	岩佐 帆夏	経済学部	札幌北
	尾碕 明	法学部	札幌南
	齊藤 匠	工学部 機械知能航空工	札幌南
	山内 辰馬	工学部 機械知能航空工	私立芝
	渡部 新	工学部 電気情報物理工	仙台第二

東北大学学友会スキー部 OB・OG名簿

会員	氏名	在籍学部	氏名	在籍学部
会長	工藤 博司	理学部 化学科		
副会長	吉田 裕	文学部	森 啓	理学部 地質学科
S29年卒	伊藤 孝夫 (永野)  高橋 公正	教育学部  教育学部	島田 郁夫	教育学部
S30年卒	石井 孝治  鬼川 徹  吉田 裕	教育学部  医学部  文学部	岩波 勝  佐々木 一巳	法学部  工学部
S31年卒	千葉 忠男	工学部 応用化学科		
S32年卒	井畑 秋男  加藤 洋  塩見 誠之輔	法学部  工学部 精密工学科  経済学部	井藤 栄二  佐久間 泰彦  富田 恭造	農学部 農芸化学科  経済学部  工学部 金属工学科
S33年卒	香坂 昌敬	工学部	笛木 劭	法学部
S34年卒	青山 孝朗	経済学部	荒木 勉	工学部

会員	氏名	在籍学部	氏名	在籍学部
	伊藤 智康	法学部	木名瀬 武男	通信工学科
	鈴木 浩一	工学部 機械工学科	本沢 忠夫	工学部 精密工学科
	結城 諒	理学部		理学部
S35年卒	小沢 紀男	工学部 電気工学科	小野寺 満憲	工学部 機械工学科
	平間 重義	工学部 建築学科		
S36年卒	石田 孝	経済学部	内田 絢子	理学部 生物学科
	柴田 徹	薬学部	森 啓	理学部 地質学科
S37年卒	金ヶ崎 史朗	理学部 生物学科	栗原 義郎	理学部 化学科
	佐藤 多助	教育学部	高頭 正行	経済学部
	三玉 立朗	経済学部	山田 正俊	工学部 精密工学科
S38年卒	青山 浩志	農学部 食品化学科	市川 民雄	教育学部
	菊池 尚子	医学部 薬学科	中村 彰太郎	工学部 機械工学科
	籾野 紘一	農学部 農芸学科	日下 俊直	農学部 農学科



会員	氏名	在籍学部	氏名	在籍学部
	渡邊 高峯	工学部 精密工学科		
S39年卒	阿部 欣悦	理学部 数学科	伊藤 憲克	工学部
	加藤 孝	農学部	川畑 カズコ	教育学部
	菅野 興文	農学部 畜産学科	工藤 博司	理学部 化学科
	竹内 興二	工学部 通信学科	富田 光彦	法学部
	三十尾 延江	医学部 薬学科	山品 寛一	工学部 建築学科
	吉田 睦男	教育学部 保健体育科	渡辺 洋	農学部 水産学科
S40年卒	今枝 友明	経済学部	大井 柁雄	工学部 電子工学科
	鬼木 美枝子 (栗原)	文学部 美学科	清水 紘治	工学部 機械工学科
	清水 典子 (畑中)	文学部 心理学科	鈴木 正明	法学部
	藤巻 公裕	教育学部 学校体育科		
S41年卒	大熊 清二	工学部 機械工学科	平野 耕一郎	工学部 機械工学 第二学科
S42年卒	岡田 博文	農学部	河合 久嗣	工学部 電気工学科

会員	氏名	在籍学部	氏名	在籍学部
	佐藤 佑	教育学部	高津 宣夫	工学部 精密工学科
	南部 諄一	工学部 精密工学 第二学科	武樋 政司	法学部
S43年卒	高田 潤一	教育学部 体育科	田中 勝	工学部 電子工学科
	照井 頌二	医学部	中澤 徳郎	工学部 電子工学科
	新野 紘三	工学部 機械工学 第二学科	原田 有造	工学部 建築科
	松久 勝利			
S44年卒	片石 隆雄	工学部 金属材料工学科	田中 和雄	工学部 金属材料工学科
	壺 富士雄	経済学部		
S45年卒	植杉 健一	歯学部	蕪木 俊行	文学部 社会学科
	神谷 靖彦	工学部 電気系	川田 正美	工学部 金属工学科
	櫻井 新一	理学部 地学系	高木 顕	理学部
	高橋 喜三雄	経済学部	二瓶 正	工学部 金属材料工学科
	半田 浩一	理学部 化学系	矢口 弘志	工学部 機械工学 第二学科
	吉澤 静一	工学部	横山 雄二	経済学部

会員	氏名	在籍学部	氏名	在籍学部
	渡部 安雄	応用物理学科 工学部 機械工学 第二学科		
S46年卒	小島 照夫  西沢 理	工学部 機械工学 第二学科  医学部	幸前 徹	工学部 金属学科
S47年卒	阿部 孝春  佐野 満広  仲居 良文	理学部 化学科  農学部  法学部	奥井 栄一  神 常雄  宮城 啓一	医学部 薬学科  教育学部  工学部 機械工学科
S48年卒	長谷川 明	工学部 土木科	平瀬 了	理学部 数学科
S49年卒	水村 哲夫	工学部 金属系	三田 常義	理学部 物理学科
S50年卒	小牧 博一  長谷川 隆	工学部 機械系  工学部 金属系	鈴木 徹  藤井 隆宏	工学部 金属系  工学部 電気系
S51年卒	塚越 隆二  渡辺 由美子 (遠藤)	農学部  理学部 化学系	望月 達也	工学部 土木科
S52年卒	秋田 仁	工学部 機械工学科	宇賀神 義宣	

会員	氏名	在籍学部	氏名	在籍学部
	鹿野 敏彦  神長 耕二  半沢 幸子 (大江田)	工学部 建築学科  工学部 土木科  理学部	鹿野 陽子  生内 雄一  三田 さえ子 (橋本)	理学部 地学科  工学部 金属工学科  文学部 心理学科
S53年卒	五十嵐 豊明  高田 稔  宮崎 豊	工学部 電気工学科  工学部 金属工学科  医学部	上條 敦  堀松 政司	理学部 物理学科  経済学部
S54年卒	渥美 宗英  石川 知義  遠藤 政市  野呂 康宏	工学部 機械工学科  工学部 機械工学科  工学部 電気工学科  工学部 電気系	荒井 正美  江村 寛  鈴木 雅裕  村瀬 忠之	経済学部  農学部  法学部  工学部 建築系
S55年卒	藤戸 麦郷	工学部 金属工学科		
S56年卒	朝倉 俊一  釜谷 靖	工学部 機械工学科  工学部 土木科	柏崎 正喜  上條 直子 (熊倉)	教育学部  文学部

会員	氏名	在籍学部	氏名	在籍学部
	清水 真理子 (仕入)	工学部 機械工学科	杉山 弘一	工学部 原子核学科
	杉山 紀子 (中井)	農学部	高橋 かおる (千葉)	文学部
	平間 義男	工学部 機械工学科	山下 秀則	教育学部
	山西 勇	工学部 機械工学科		
S57年卒	上野 秀人	工学部 精密工学科	上河 範子 (鐘江)	理学部 化学科
	川田 賢	工学部 電子工学科	清水 邦敏	工学部 精密工学科
	中川 万規人	理学部 物理学科	八重樫 誠司	工学部 金属工学科
	米田 善治	経済学部		
S58年卒	荒井 明	工学部 化学科	石田 伸彦	農学部
	下篠 憲	工学部 化学科	関本 英雄	工学部 電気科
	高田 邦宏	文学部	竹部 幸夫	法学部
	津田 邦男	工学部 電気科	本波 英樹	工学部 建築科
	山本 直	工学部 機械科		
S59年卒	加藤 浩	工学部	佐藤 和彦	法学部

会員	氏名	在籍学部	氏名	在籍学部
	鈴木 道之 山口 浩人	応用物理科 工学部 金属学科 工学部 土木科	高木 英雄	工学部 応用物理科
S60年卒	加藤 浩 木村 浩之 島本 泰輔 結城 英治	教育学部 教育学部 工学部 金属科 法学部	加藤 秀司 小林 郁雄 竹野 浩之	法学部 理学部 地学科 工学部 機械科
S61年卒	喜多見 哲 篠塚 重隆	法学部 工学部 原子核工学科	佐藤 淳 宮崎 純子(野村)	経済学部 工学部 化学科
S62年卒	猪股 正彦 郷 孝志	経済学部 経済学部	沖 忠美	経済学部
S63年卒	阿部 正登 近藤 晃 鈴木 康裕	工学部 原子核工学科 工学部 法学部	鯨岡 秀紀 村主 正範 原田 潔	理学部 地学科 経済学部 経済学部 経営

会員	氏名	在籍学部	氏名	在籍学部
	日出間 純	農学部 農化	牧田 晋	法学部
H1年卒	小笠原 和徳	工学部 原子核工学科	外山 馨	医学部
	高橋 美晴	家政科	塚田 崇	工学部 建築科
	前田 一人	工学部 原子核工学科	湧田 憲一郎	工学部 金属科
H2年卒	小野 信行	工学部 土木科	風間 聡	工学部 土木科
	梶 哲郎	工学部 金属科	櫻庭 政夫	工学部 電気工学科
	中井 俊	工学部 機械科	森田 清二	工学部 建築
H3年卒	堀米 美輝	宮城学院女子大	三井 裕之	工学部 金属
	山下 健司	法学部		
H4年卒	浅岡 由伸	工学部 電気	亀田 佑一	工学部 金属
	仮屋 智由	工学部 金属	小岩 秀行	工学部 機械
	小島 崇男	工学部 金属	神保 誠二	工学部 土木
	西村 望	理学部 化学	藤森 吉則	工学部 金属

会員	氏名	在籍学部	氏名	在籍学部
	前田 昌彦	工学部 機械	松村 武	理学部 物理
	四方 潤一	工学部 電気		
H5年卒	青木 俊明	工学部 原子核工学科	小椋 真佐子 (石飛)	医学部
	大鰐 紀夫	法学部	奥村 肇	理学部 物理
	菅 謙三朗	工学部 電気	上坂 義仁	工学部 機械
	駒井 道子	東北薬科大学	佐々木 広美 (鈴木)	東北薬科大学
	高橋 勲	工学部 金属	高橋 紀子	文学部
	筒井 寛明	工学部 機械	野間 英樹	工学部 機械
	深堀 協子	理学部 地球物理	牧田 誠司	工学部 建築
	宮田 大輔	理学部 天文	向 展正	工学部 化学
	目黒 秋子	文学部	山田 みつき	理学部 物理
	吉澤 拓也	工学部 資源		
H6年卒	石川 晃	工学部 電気	河野 秀俊	工学部 電気
	川原 靖雄	理学部	君島 均	工学部



会員	氏名	在籍学部	氏名	在籍学部
	佐々木 右介	数学 工学部	田中 英俊	機械 工学部 電気
	曳沼 賢	経済学部 経営	藤原 尚哉	理学部 化学
	渡辺 健	工学部 電気		
H7年卒	河辺 伸	経済学部	木野 幸一	理学部 物理
	高橋 知子	東北薬科大学	竹田 史彦	工学部 機械
	土屋 史紀	理学部 地球科学	永井 真貴子	医学部
	根本 美穂子	文学部	山内 貴代	東北薬科大学
H8年卒	阿相 和良	工学部 化学	足立 将孝	工学部 化学
	石川 久子 (岡田)	工学部 土木	倉持 嘉徳	工学部 原子核
	隅谷 宗太	理学部 物理	平田 直哉	工学部 土木
	森 工	工学部 電気	八木 卓雄	文学部
H9年卒	岡島 康雄	理学部 物理	榊原 健二	工学部 物理情報
H10年卒	石倉 綾	農学部 生体分子	鈴木 正彦	工学部 電気

会員	氏名	在籍学部	氏名	在籍学部
	中村 哲平	農学部 生体分子	細田 悦央	工学部 機械知能
H11年卒	安保 覚	法学部	小野木 伯薫	工学部 機械知能
H12年卒	岩満 幸子 (渡辺)	工学部 機械知能	小野 寛明	工学部 人間環境
	小林 大輔	工学部 機械知能	阪口 智絵	工学部 化学バイオ
	中村 健嗣	工学部 機械知能		
H13年卒	石橋 和彦	工学部 機械知能	辻 祐介	工学部 電子応物情報
H14年卒	大原 祥平	理学部 地学系	北明 基史	理学部 生物系
	田中 倫久	理学部 地学系	田中 亮	理学部 物理系
	久永 茂生	工学部 人間環境		
H15年卒	大学 紀二	工学部 化学バイオ	牧野 義和	理学部 地学系
H16年卒	伊丹 太一	農学部	工藤 武大	文学部
	宮澤 孝裕	工学部 機械知能		
H17年卒	西 宏介	経済学部	野澤 圭	工学部 マテリアル開発

会員	氏名	在籍学部	氏名	在籍学部
	藤田 健	文学部	村田 浩道	工学部 電子応物情報
H18年卒	石塚 真喜	法学部	堀井 泰之	理学部 物理
H19年卒	中矢 博樹	理学部 物理	柴崎 晃	工学部 人間環境
	杉下 裕樹	理学部 物理		
H20年卒	岡部 昭彦	工学部 機械知能	谷澤 朋有	理学部
H21年卒	秋保 直弘	工学部 機械知能	斎藤 和輝	農学部
	丸島 直史	理学部 地学系	保田 一光	理学部 地学系
	吉田 大樹	工学部 機械知能		
H22年卒	出口 幸治	工学部 機械知能		
H23年卒	鈴木 清暁	法学部	武井 俊憲	理学部 化学系
	東谷 綾華	理学部 物理系		
H24年卒	安藤 樹	理学部 物理系	高橋 晶	工学部 情報知能 システム総合
	仁保 千秋	歯学部 歯学科	村上 志帆 (福田)	経済学部
H25年卒	河田 泰明	工学部	小林 東史	薬学部

会員	氏名	在籍学部	氏名	在籍学部
	佐藤 由良	建築科 工学部 機械知能	千葉 貴司	理学部 物理系
H26年卒	安藤 努	文学部	伊藤 一成	理学部 物理系
	緒方 健人	理学部 化学系	袖野 太士	工学部 建築科
	高橋 愛子	農学部	船田 尚	理学部 化学
	三澤 公希	工学部 建築科	平野 弘幸	教育学部
H27年卒	石溪 惇哉	経済学部	佐藤 嵩浩	工学部 情報知能
	鈴木 智也	工学部 情報知能	鈴木 優子	理学部 化学系
	永井 裕	法学部	中島 稜介	理学部 物理系
	宮崎 伸彦	理学部 物理系	湯澤 樹	理学部 地学系
	蓬田 貴裕	工学部 情報知能		
H28年卒	石井 智樹	工学部 化学バイオ工	稲永 久信	経済学部
	笠間 桂太	理学部 物理系	高道 範武	工学部 機械知能航空工
	田口 晃史	理学部 化学系	田光 巧弥	農学部

会員	氏名	在籍学部	氏名	在籍学部
	時田 紘太郎	理学部 生物系	南波 和希	理学部 物理系
	丹羽 祥太	農学部	長谷川 源	理学部 物理系
	松田 敬太郎	工学部 化学バイオ工	望月 潤	理学部 生物系
	務台 光平	工学部 化学バイオ工	村上 日向	理学部 生物系
	山井 尚也	工学部 機械知能航空工		
H29年卒	穴田 柚冬	工学部 化学バイオ工	坂内 野乃	
	上村 舞夏	文学部	大嶽 晶子	文学部
	小池 祥央	文学部	小関 美里	農学部
	嶋田 瑞生	経済学部	割田 伊織	工学部 機械知能航空工
H30年卒	草原 直樹	工学部 建築社会環境工	久保田 健太	工学部 材料科学総合
	志田 友香	工学部 化学バイオ工	鈴木 来夢	理学部 地球科学系
	竹重 龍一	理学部 生物系	照沼 敬洋	理学部 化学系
	中嶋 成佳	工学部 材料科学総合	林 荘也	理学部 化学系

会員	氏名	在籍学部	氏名	在籍学部
	八木 さくら	経済学部	山下 毅	工学部 材料科学総合
	渡邊 真澄	医学部 保健学科	渡部 楽	理学部 化学科
H31年卒	稲村 麟	工学部 機械知能航空工	及川 絵梨	工学部 機械知能航空工
	栗谷 京生	工学部 電気情報物理工	小泉 慶次郎	理学部 化学系
	小柴 黎斗	工学部 電気情報物理工	長谷川 就	工学部 化学バイオ工
	原 一貴	工学部 材料科学総合	平山 悠暉	工学部 機械知能航空工
	務台 雄斗	工学部 建築社会環境工	森田 陽	工学部 建築社会環境工
	山根 萌	教育学部	吉田 圭	工学部 電気情報物理工
R1年卒	青木 佑海	文学部	木村 香穂	法学部
	串田 拓也	法学部	新海 孝洋	理学部 化学系
	竹井 しのぶ	理学部 物理系	古畑 和樹	工学部 機械知能航空工
	正橋 遼	工学部 電気情報物理工	松尾 優太郎	工学部 材料科学総合
	三竿 洋太郎	理学部 化学系		

会員	氏名	在籍学部	氏名	在籍学部
逝去会員				
初代部長	加藤 愛雄			
初代副部長	柳原 正			
名誉会長	八木 建三			
名誉副会長	北村 仁			
副会長	榊原 正			
特別会員	佐藤 昭男  手塚 敬裕		森 博	
S29年卒	佐藤 林平	教育学部		
S30年卒	森 昌造	医学部		
S31年卒	佐藤 陽二（井上）  本田 健治	教育学部  工学部 機械工学科	宍戸 俊夫	工学部 機械工学科
S32年卒	結城 確	歯学部		
S33年卒	菅原 俊成	農学部 水産学科		

会員	氏名	在籍学部	氏名	在籍学部
S35年卒	山田 文彌	工学部	山室 正章	理学部 物理学科
S36年卒	松本 弘子 (坂本)	理学部 化学科		
S37年卒	佐藤 周子 (武田)	医学部 医学科		
S41年卒	植木 昌範	経済学部		
S44年卒	五十嵐 博之	工学部 金属材料工学科		
S46年卒	川島 清	経済学部	肥後 哲郎	工学部 建築学科
S47年卒	四野宮 輝雄	経済学部		
S51年卒	安達 忠衛	農学部		
H11年卒	三浦 郁奈子	工学部 機械知能		

※かっこ内は旧姓です。

現在、新しい東北大学学友会スキー部OB・OG名簿を作成しております。また、第62号まで掲載しておりました住所・電話番号・勤務先の情報は個人情報保護に関するご意見を頂戴しており、本号では掲載しておりません。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

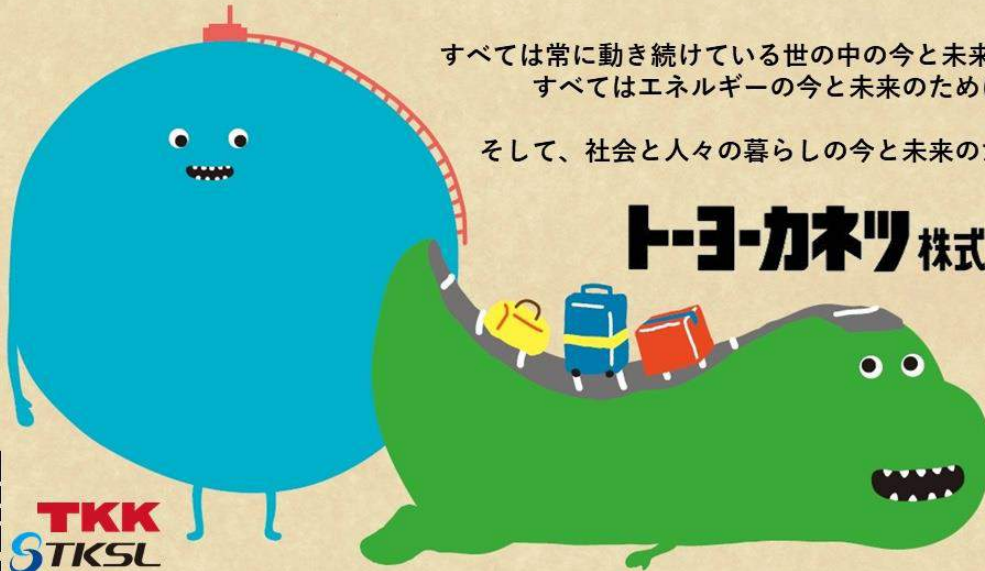


# タンクとブツリユー。

すべては常に動き続けている世の中の今と未来のために。  
すべてはエネルギーの今と未来のために。

そして、社会と人々の暮らしの今と未来のために。

## トヨカネツ株式会社



**TKK**  
**STKSL**

<https://www.toyokanetsu.co.jp/recruit/>

**POWERRIDE**  
FREERIDE POWER RIDE

☆スキー、スノボチューンナップ受付中

4月～9月末日までチューンナップ受付の方は割引有り

☆自社製品 POWERRIDE 販売中

宮城県仙台市青葉区台原2丁目10-2

Tel. 022-234-2545

<http://freeride-powerride.com>

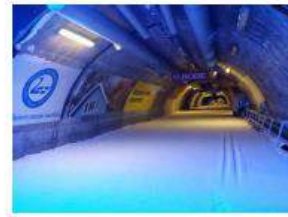
[info@freeride-powerride.com](mailto:info@freeride-powerride.com)

(株)フリーライド



**UCHIDA SPORTS**

NORDIC スキー日本屈指の PRO SHOP。道具選びは、本場ヨーロッパで学んだ計測技術にて体重・滑走テクニック・パワーetc・・・ヒアリングを基に自身に合うモデルの選択を致します。そして予算に合わせたコストカットとして程度の良い中古品(道具商/古物商)の提案もできます。合わせて全ての道具に対する耐久性・ランニングコストの診断やご相談になることも致します。又、修理作業(SKI/BOOTS/POLE/ローラースキー他)も得意としております。購入だけをすすめるのではなく使えるものは修理してお使い頂けるようご提案も致します。最後に本場ヨーロッパのクラブチーム及びナショナルチームコーチにレクチャーを受けたトレーニング指導も出来ます。他、ご要望あればオリンピック選手のトレーニング講習会・合宿の宿へ車の手配なども行える NORDIC 総合 SHOP となります。ご用命の際はぜひ当店まで連絡を。



寄付金 T シャツプロジェクト第 5 弾

SAJ official Ski Club

NORDIC PRO SHOP

**Who is Next?** ×  
Japan ▶ World

**TEAM UCHIDA SPORTS**

南内田紙店  
**UCHIDA SPORTS**

目指すは世界

あなたの 1 枚が選手のカとなる

大会出場登録〜TR キャンプコーディネーター  
オリンピック選手による講習会も行う  
NORDIC トータルアドバイザーチーム!!

ヨーロッパで学んだ正しい知識で  
的確な道具選びをいたします。

〒949-2235 新潟県妙高市関山 2065  
Phone:0255-82-2031 / FAX:0255-82-2071  
Mail: info@uchida-sports.com  
http://www.uchida-sports.com

**Who is Next? 寄付金 T シャツプロジェクト TEAM UCHIDA SPORTS**

ご注文フォーム HP : <http://www.uchida-sports.com/whoisnext.html>

Mail : [whoisnext@uchida-sports.com](mailto:whoisnext@uchida-sports.com)

携帯・スマホ・PCからの注文→ <https://ssl.form-mailer.jp/fms/6cf4a0f3251847>

ブナの森 玉原高原 ペンション  
バン・デ・ルーージュ

*Vin de Rouge*



交通：関越自動車道沼田 IC より 35 分

玉原スキーパークの目の前です。(11 月末より 5 月連休まで滑走可能)

クロスカントリースキー、山スキーにも最適。春はブナの新緑や玉原湿原のミズバショウ。夏はテニス、ハイキング、登山、サイクリングなど。ラベンダー園では夏山リフト運行中。ラフティング(激流下り)、カヌー、パラグライダーの体験教室あり。秋にはブナの森の紅葉の中でぶどう狩り、リンゴ狩り、きのこ狩り。

萩雪会の皆様のおいでをお待ちしております。(56 年卒杉山)

〒378-0071 群馬県沼田市上発知町玉原高原 Tel 0278-23-9114

**ジュピア**  
 蔵王温泉上の合スキー場  
**JUPITER**

蔵王温泉観光株式会社 蔵王スキー学校  
 〒990-2301 山形県蔵王温泉18番地 tel (023)694-9381  
 tel (023)694-9417

お食事は  
 4 Fチアリー  
 3 Fからから  
 どうぞ。

コロッケ  
 メンチもよろしく!

**堀畜産有限会社**  
 蔵王店 蔵王温泉954-1 TEL. 694-9236

山形蔵王温泉高湯通り  
**(有)伊東酒店**  
 TEL023-694-9336  
 FAX023-694-9331

地酒、限定ワイン  
 総合食品販売  
 地方発送

東北大片キリンの玄関  
**けんと**  
 Kent  
 霊屋橋 GS

アメリカ手法の自家製手作りクッキー  
 米ヶ袋本店 022-225-0144  
 〒980-0813 青葉区米ヶ袋 1-5-19

一番町店 022-215-5054  
 〒980-0811 青葉区一番町 2-5-12  
 一番町中央ビル1階 C102

## —広告協賛一覧—

ご協力ありがとうございました。

トーヨーカネツ株式会社

ウチダスポーツ

バン・デ・ルージュ

蔵王温泉観光(株)

F R E E R I D E

けんと

(有)伊東与三郎商店

堀畜産 (有)

スキー部冬季宿泊先：  
東北大学萩雪ヒュッテ  
山形県山形市蔵王温泉 820-1  
TEL 023-694-9094

スキー部口座：  
郵便振替口座 02200-4-19520

#### 編集後記

SPUR64 号の編集・発行は、大坪奏祐、堀倫彰で務めさせていただきました。誤りのないようには努めましたが、誤字・脱字等を見つければ、ご連絡お願い致します。

SPUR	第64号
発行年	令和2年
発行所	東北大学学友会スキー部 〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1-1
発行者	小林幹太
編集者	大坪奏祐 堀倫彰
印刷所	プリントコープ 東北大学片平校舎 学生生協内

スキー部ホームページアドレス：  
<http://ski-tohoku.main.jp/>  
右のQRコードからもアクセスできます。  
最新の活動状況は、こちらでご覧になれます。



スキー部ブログアドレス：  
<http://skitohoku.blog105.fc2.com/>

問い合わせ先  
[ski.racing.tohoku@gmail.com](mailto:ski.racing.tohoku@gmail.com)



S  
P  
U  
R

第六十四号(令和二年度)

東北大学学友会スキー部